

中部縦貫自動車道（^{ひらゆ}平湯～^{ひよも}日面）
第2回 計画段階評価

国土交通省 中部地方整備局

令和3年11月24日

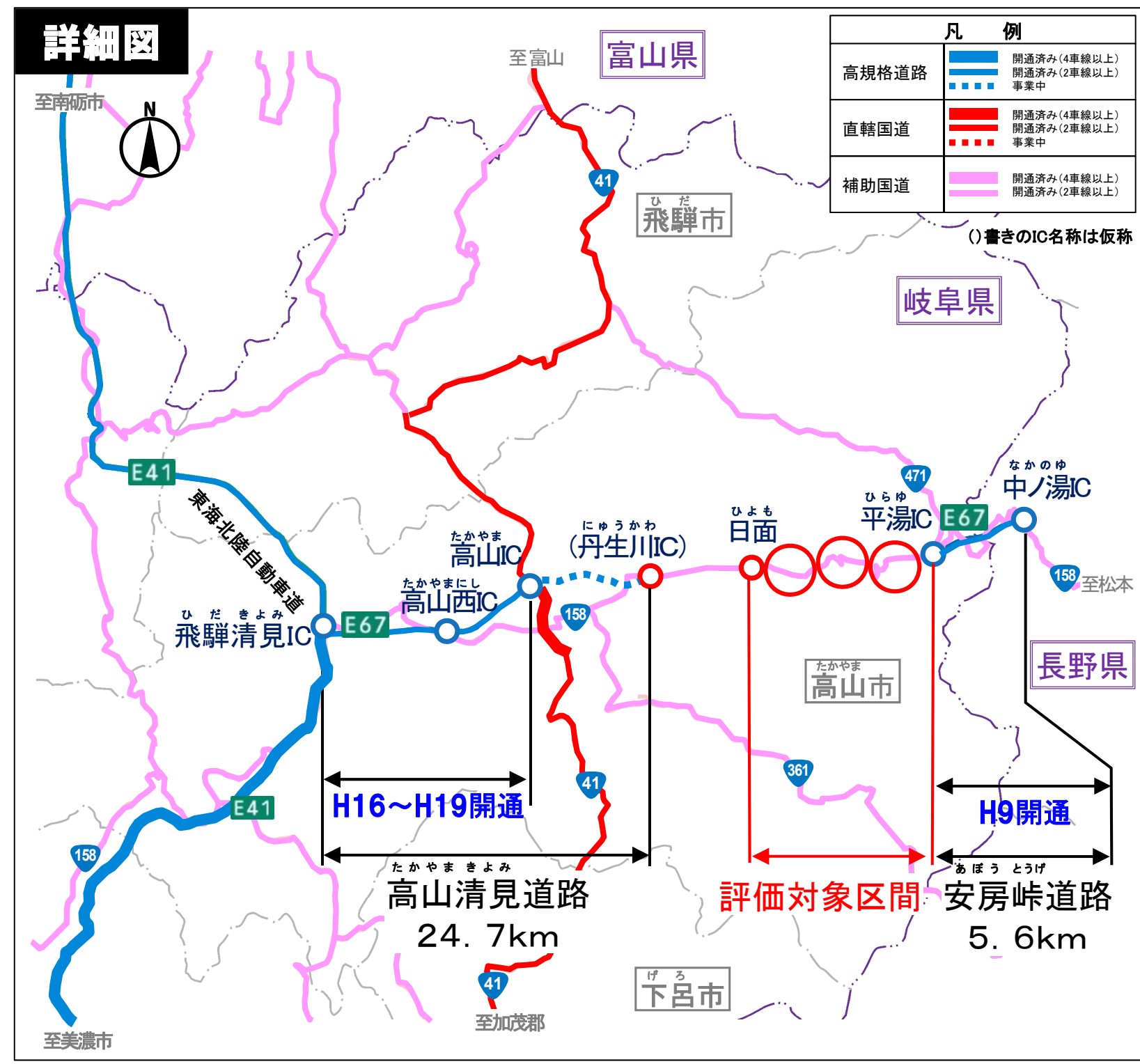
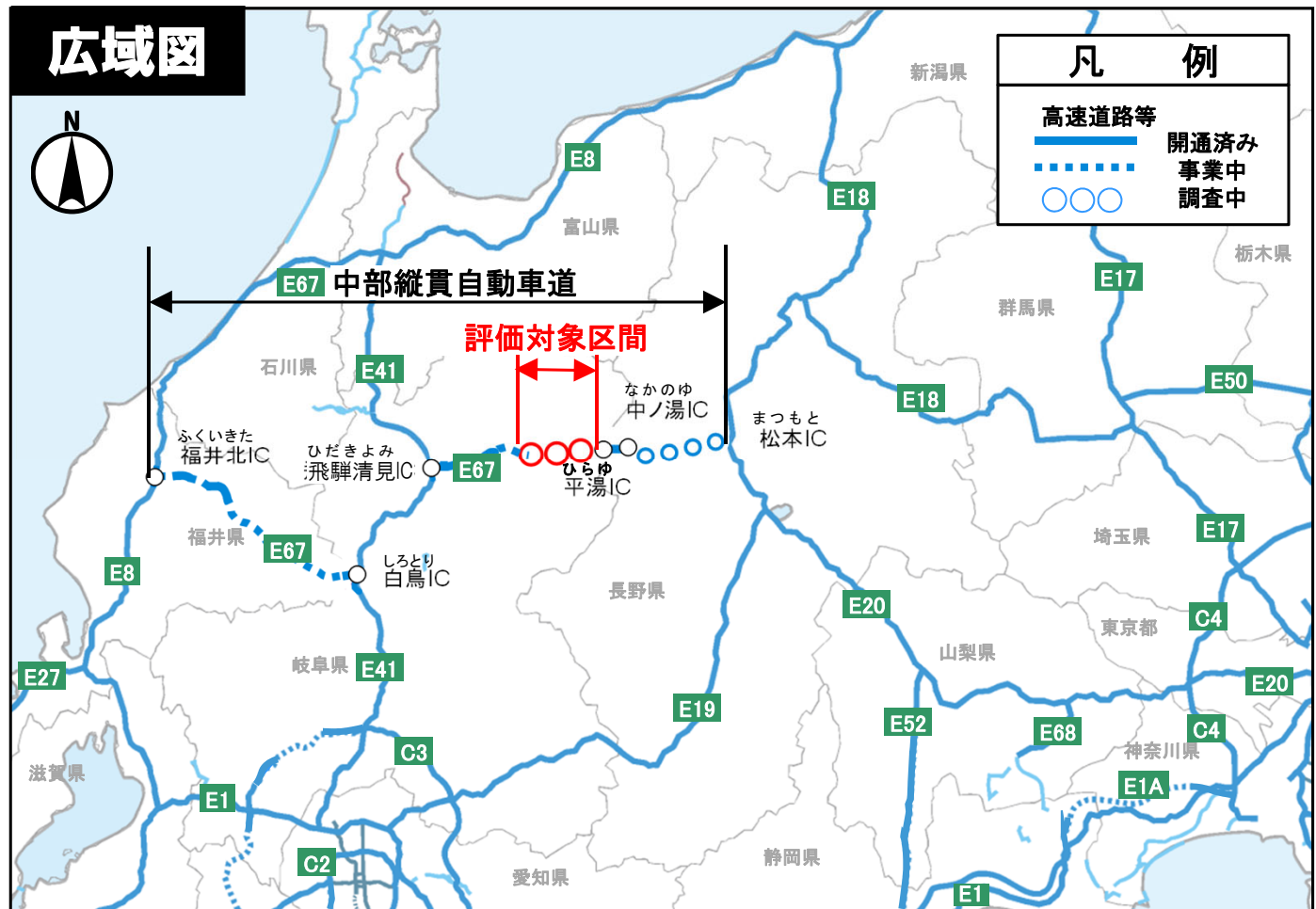
目次

1. 検討の流れ	・ ・ ・ ・ 2
2. 第1回意見聴取の結果	・ ・ ・ ・ 10
3. 対応方針の検討	・ ・ ・ ・ 22
4. 第2回意見聴取の方法（案）	・ ・ ・ ・ 30

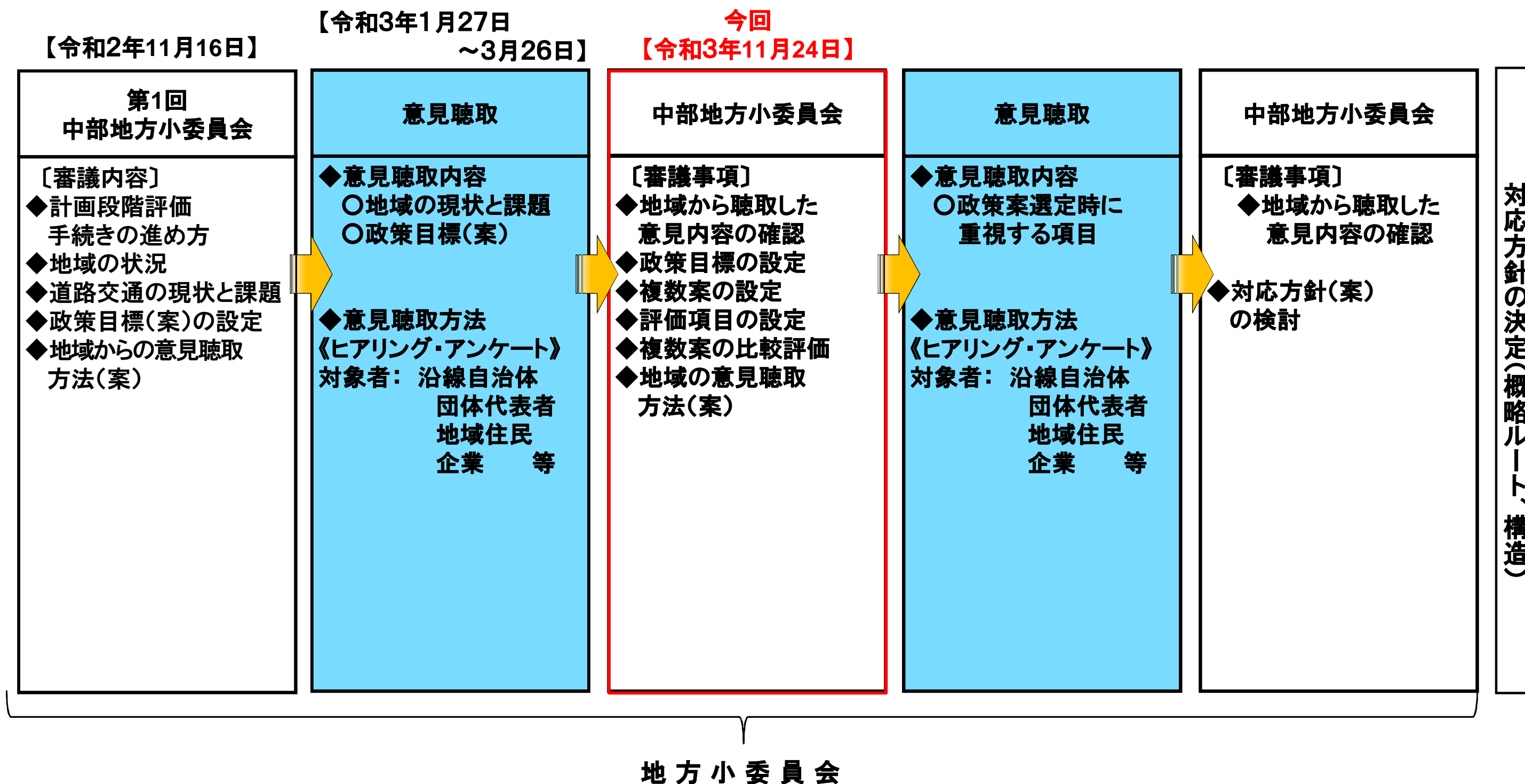
1. 検討の流れ

1. 検討の流れ 1-1) 計画段階評価区間

- 中部縦貫自動車道は、長野県松本市～福井県福井市に至る延長約160km（東海北陸自動車道を除く）を結ぶ高規格幹線道路。
- 評価対象区間は、高山市奥飛騨温泉郷平湯～高山市丹生川町日面を結ぶ区間。

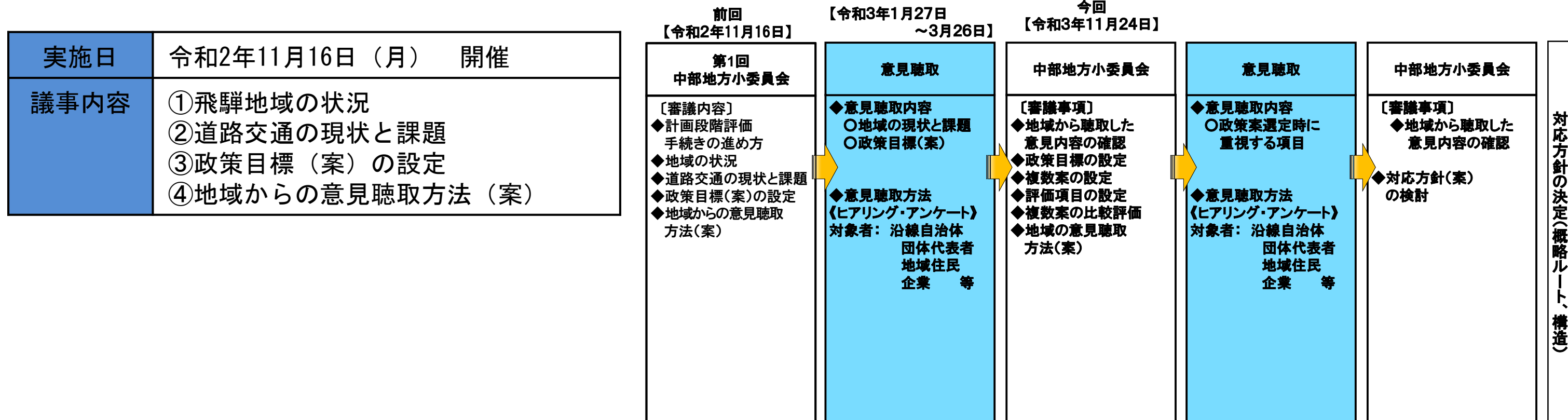


1. 検討の流れ 1-2)計画段階評価手続きの進め方



1. 検討の流れ 1-3) 前回審議内容①

■ 令和2年度 第3回社会資本整備審議会 道路分科会 中部地方小委員会の概要



■ 前回審議での主なご意見と対応状況

指摘事項	対応状況	該当箇所
<ul style="list-style-type: none"> 当該路線は観光や物流など広域利用が見込まれる事を踏まえて意見聴取の対象を決定した方がよい。 	<ul style="list-style-type: none"> 観光や物流など、広域的な道路利用者の意見聴取を行うため、隣接県道の駅におけるポスター設置(QRコードによるWebアンケートへの誘導)、観光・物流関係の事業者団体(旅行業協会、トラック協会)へのヒアリングを実施。 	P6
<ul style="list-style-type: none"> 意見聴取を行う際に、路線の全体計画や整備効果及び今回の評価区間の選定理由も合わせて記載した方がよい。 	<ul style="list-style-type: none"> 意見聴取時の説明資料に、路線の全体計画や整備効果及び今回の評価区間の選定理由も合わせて掲載。 	P7
<ul style="list-style-type: none"> 一つの設問に様々な要素が含まれており、回答する側も分析する側も、どの課題が相対的に重要かわかりづらいため、選択肢を再考すべき。 	<ul style="list-style-type: none"> 課題の要素ごとに、アンケート質問の選択肢を再検討し、分かりやすい表現に工夫。 	P8
<ul style="list-style-type: none"> アンケート用紙について、文字数、文字サイズ、QRコードの付記など、調査票を工夫した方がよい。 	<ul style="list-style-type: none"> アンケート用紙について、文字数、文字サイズ、QRコードの付記など、分かりやすく修正。 	P9

【指摘事項】 当該路線は観光や物流など広域利用が見込まれる事を踏まえて意見聴取の対象を決定した方がよい。
【対応状況】 観光や物流など、広域的な道路利用者の意見聴取を行うため、隣接県道の駅におけるポスター設置(QRコードによるWebアンケートへの誘導)、観光・物流関係の事業者団体(旅行業協会、トラック協会)へのヒアリングを実施。

■ 広域的な利用の観点からの意見聴取

広域的な道路利用者の意見を聴取するため、隣接する福井県・長野県の道の駅にポスター・チラシを設置し、QRコードを用いてWebアンケートに誘導を実施。

広域的な道路利用者(業務上利用者)の意見を聴取するため、広域な業務活動を行う旅行業協会や隣接県のトラック協会へのヒアリングを実施。

● 隣接県道の駅へのポスター設置状況



<道の駅「九頭竜」(福井県)>



<一乗谷あさくら水の駅(福井県)>



<道の駅「今井恵の里」(長野県)>

QRコードにより
Webアンケートに誘導

道路計画に関するご意見をお聞かせください
中部縦貫自動車道(平湯～目面)の計画に関する第1回アンケート

中部縦貫自動車道(平湯～目面)の計画にあたり、皆様の生活に役立つ道路となるよう、日頃感じられている国道158号に関する道路の課題等について、ご意見を伺うものです。

アンケートの回答は、下記より、アンケートwebページにアクセスしていただき、アンケートwebページ内に記載の手順に従って回答してください。

アンケートのご回答は、令和3年3月26日(金)までお願いいたします。
 ※この期間以降にご回答いただいた場合、集計に反映されない場合がございます。

お問い合わせ
 国土交通省 中部地方整備局 高山国道事務所 計画課
 〒506-0055 岐阜県高山市上開本町7-425
 TEL: 計画課 0577-36-3822 (代表: 0577-36-3811)
 ホームページ: <https://www.cbr.mlit.go.jp/takayama/index.html>

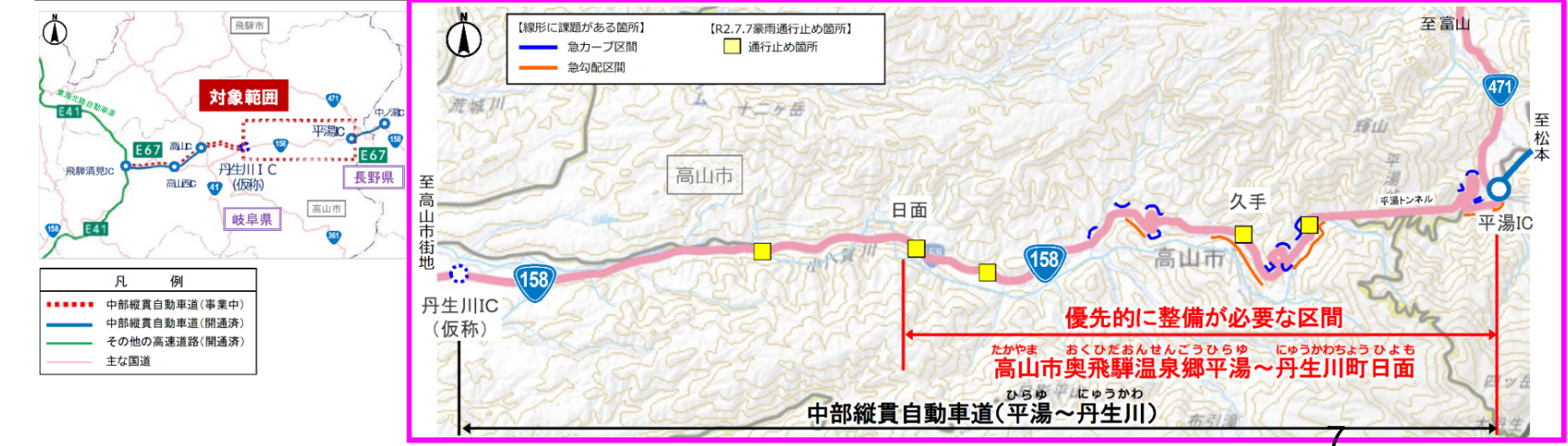
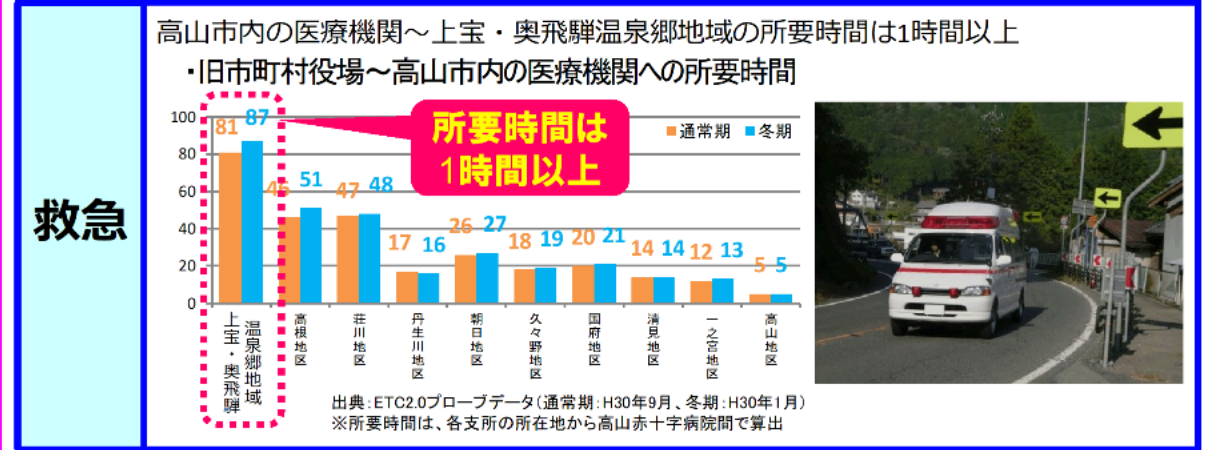
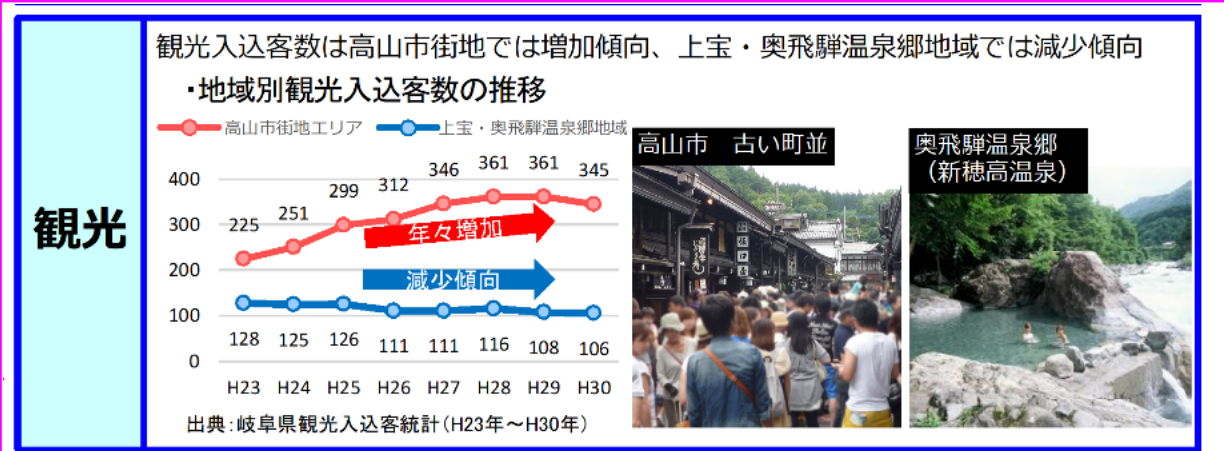
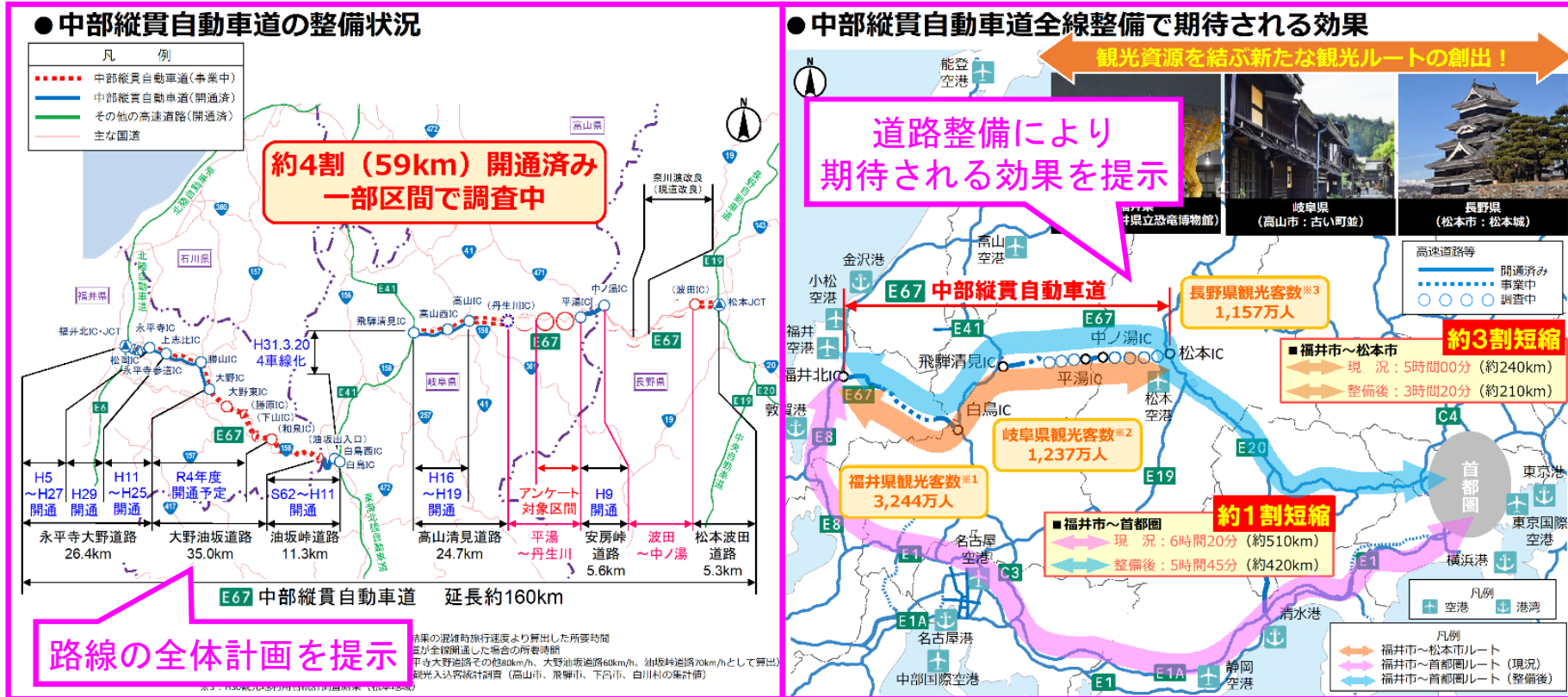
● 広域道路利用者のヒアリング対象者

種別	対象者
観光関係: 旅行業協会	全国旅行業協会岐阜県支部
	日本旅行業協会中部事務局
物流関係: 隣接県トラック協会	富山県トラック協会
	石川県トラック協会
	長野県トラック協会会員企業
	福井県トラック協会会員企業

1. 検討の流れ 1-3) 前回審議内容③

【指摘事項】 意見聴取を行う際に、路線の全体計画や整備効果及び今回の評価区間の選定理由も合わせて記載した方がよい。
【対応状況】 意見聴取時の説明資料に、路線の全体計画や整備効果及び今回の評価区間の選定理由も合わせて掲載。

■意見聴取時における説明資料の工夫



今回の評価区間の概況を提示

1. 検討の流れ 1-3) 前回審議内容④

【指摘事項】 一つの設問に様々な要素が含まれており、回答する側も分析する側も、どの課題が相対的に重要かわかりづらいため、選択肢を再考すべき。
【対応状況】 課題の要素ごとに、アンケート質問の選択肢を再検討し、分かりやすい表現に工夫。

■意見聴取時におけるアンケート質問の選択肢の工夫

<変更前: 前回審議時提示(案)>

問2-1: 国道158号(高山市奥飛騨温泉郷平湯～高山市丹生川町日面)にはどのような交通課題があると思いますか？
 以下の①～⑤の交通課題について、4段階評価してください。

【4段階評価】
 4. 強く思う 3. どちらかというと思う 2. どちらかというと思わない 1. 全く思わない

- ①北陸方面と関東方面を、東西に最短で結ぶ高速道路・自動車専用道路は未整備であり、大きな迂回を要するため所要時間がかかり輸送コストも増加すると感じている
- ②上宝・奥飛騨温泉郷地域の観光地までは所要時間がかかると感じている
- ③上宝・奥飛騨温泉郷地域から病院まで所要時間がかかり、また、カーブ区間、急勾配区間が多く患者への負担が大きいと感じている
- ④国道158号はカーブ区間、急勾配区間が多いため事故リスクが高く、特に積雪時における走行性・安全性が低いと感じている
- ⑤国道158号は災害時に通行止めになることが多く、代替路がないためリダンダンシーが確保されないと感じている
- ⑥その他(自由回答)

<変更後: 第1回意見聴取>

以下の問2、問3の各設問について、4段階で評価してください。【1つ選択】
 4. 強く思う 3. どちらかというと思う 2. どちらかというと思わない 1. 全く思わない

問2: 国道158号(平湯～日面)にはどのような交通の課題があると思いますか？

- ①北陸・関東方面などへの広域な移動に時間を要するため、利用しづらい
- ②上宝・奥飛騨温泉郷地域の観光地までの移動にかかる
- ③高度な医療を提供する病院までの移動にかかる
- ④カーブ区間・急勾配区間が多く、走行時に危険を感じる
- ⑤積雪時において走行性が低く、走りにくいと感じる
- ⑥災害時に通行止めになることが多く、信頼性が低いと感じる
- ⑦その他(自由回答)

問3-1: 国道158号(高山市奥飛騨温泉郷平湯～高山市丹生川町日面)にはどのような道路機能が必要だと思えますか？
 以下の①～⑤の道路機能について、4段階評価してください。

【4段階評価】
 4. 強く思う 3. どちらかというと思う 2. どちらかというと思わない 1. 全く思わない

- ①北陸～関東間を移動する際、迂回をする必要なく所要時間が短縮し、搬送コストも削減できること
- ②上宝・奥飛騨温泉郷地域の観光地までの所要時間が短縮すること
- ③上宝・奥飛騨温泉郷地域からの救急搬送時の速達性・安全性を確保できること
- ④カーブ区間、急勾配区間における走行性・安全性を確保できること
- ⑤災害時における移動の確実性を確保できること
- ⑥その他(自由回答)

問3: 国道158号(平湯～日面)にはどのような道路の機能が必要だと思えますか？

- ①広域移動にかかる速達性・定時性の向上
- ②観光地の速達性・周遊性の向上
- ③高度な医療を提供する病院への速達性の向上
- ④線形不良区間の解消(安全な道路構造)
- ⑤積雪時における走行性の確保
- ⑥災害時における移動確実性の確保
- ⑦その他(自由回答)

質問1・選択肢①に対応
 質問1・選択肢②に対応
 質問1・選択肢③に対応
 質問1・選択肢④に対応
 質問1・選択肢⑤に対応
 質問1・選択肢⑥に対応

1. 検討の流れ 1-3) 前回審議内容⑤

【指摘事項】 アンケート用紙について、文字数、文字サイズ、QRコードの付記など、調査票を工夫した方がよい。
【対応状況】 アンケート用紙について、文字数、文字サイズ、QRコードの付記など、分かりやすく修正。

■意見聴取時におけるアンケート調査票の工夫

<変更前: 前回審議時提示(案)>

アンケートの答え方

<回答方法について>

- ・P.3を見ながら、回答してください。
- ・アンケート用紙(同封の返信用はがき)に記入の上、ポスト投函してください。

<返信用の郵便はがきの記入例>

- ・選択回答の設問は、あてはまる番号に1つだけ○(マル)をつけてください。
- ・問2、問3は4段階評価の質問です。各項目について1つずつ○(マル)をつけてください。
- ・問4の設問は自由解答です。具体的なご意見をお書きください。

「オモモ子面」

郵便番号: 5060055

岐阜県高山市 上岡本町7丁目425番地
国土交通省 中部地方整備局 高山国道事務所 計画課

「ウラ面」

問2. 国道158号(高山市奥飛騨温泉郷平湯～高山市丹生川町日面)に関する現在の問題点や解消すべき点について

問2-1. 国道158号(高山市奥飛騨温泉郷平湯～高山市丹生川町日面)にはどのような交通課題があると思いますか？

以下の①～⑥の交通課題について、4段階評価してください。

【4段階評価】 4.強く思う 3.どちらかというと思う 2.どちらかというと思わない 1.全く思うわない

交通課題	あなたの評価の程度			
①北陸方面と関東方面を、東西に最短で結ぶ高規格幹線道路は未整備であり、大きな迂回を要するため所要時間がかかり輸送コストも増加している	4	3	2	1
②上宝・奥飛騨温泉郷地域の観光地までは所要時間がかかると感じている	4	3	2	1
③上宝・奥飛騨温泉郷地域から病院まで所要時間がかかり、また、カーブ区間、急勾配区間が多く患者への負担が大きいと感じている	4	3	2	1
④国道158号はカーブ区間、急勾配区間が多いため事故リスクが高く、特に積雪時における走行性・安全性が低いと感じている	4	3	2	1
⑤国道158号は災害時に通行止めになることが多く、代替路がないためリダンダンシーが確保されないと感じている	4	3	2	1
⑥その他(自由回答)				

問3. 地域の道路に求められる機能・役割について

問3-1. 国道158号(高山市奥飛騨温泉郷平湯～高山市丹生川町日面)にはどのような道路機能が必要だと思いますか？

以下の①～⑥の道路機能について、4段階評価してください。

【4段階評価】 4.強く思う 3.どちらかというと思う 2.どちらかというと思わない 1.全く思うわない

交通課題	あなたの評価の程度			
①北陸～関東間を移動する際、迂回を要する必要なく所要時間が短縮し、搬送コストも削減できること	4	3	2	1
②上宝・奥飛騨温泉郷地域の観光地までの所要時間が短縮すること	4	3	2	1
③上宝・奥飛騨温泉郷地域からの救急搬送時の速達性・安定性を確保できること	4	3	2	1
④カーブ区間、急勾配区間における走行性・安全性を確保できること	4	3	2	1
⑤災害時における移動の確実性を確保できること	4	3	2	1
⑥その他(自由回答)				

問4. その他

問4-1. この区間の道路整備の必要性や今後の方向性について、ご意見をお書きください。(自由回答)

ご協力ありがとうございました。

<変更後: 第1回意見聴取>

アンケートの答え方

<回答方法について>

- ・P.3～6を見ながら、回答してください。回答方法は次のいずれかでお願いいたします。

【回答方法①】 アンケート用紙(同封の郵便はがき)に記入の上、ポスト投函してください。

【回答方法②】 下記よりアンケートwebページ内の手順に従って回答してください。

QRコード

<返信用の郵便はがきの記入例>

- ・選択回答の設問は、あてはまる番号に1つだけ○(マル)をつけてください。
- ・問2、問3は4段階評価の質問です。各項目について1つずつ○(マル)をつけてください。
- ・問4の設問は自由解答です。具体的なご意見をお書きください。

「オモモ子面」

郵便番号: 5060055

岐阜県高山市 上岡本町7丁目425番地
国土交通省 中部地方整備局 高山国道事務所 計画課

「ウラ面」

問2. 国道158号(平湯～日面)にはどのような交通の課題があると思いますか？

以下の問2、問3の各設問について、4段階で評価してください。

4.強く思う 3.どちらかというと思う 2.どちらかというと思わない 1.全く思うわない

【4段階評価】 4.強く思う 3.どちらかというと思う 2.どちらかというと思わない 1.全く思うわない

交通課題	あなたの評価の程度			
①北陸～関東方面などへの広域な移動に時間を要するため、利用しづらい	4	3	2	1
②上宝・奥飛騨温泉郷地域の観光地までの移動に時間がかかる	4	3	2	1
③高度な医療を提供する病院までの移動に時間がかかる	4	3	2	1
④カーブ区間・急勾配区間が多く、走行時に危険を感じる	4	3	2	1
⑤積雪時において走行性が低く、走りにくいと感じる	4	3	2	1
⑥災害時に通行止めになることが多く、信頼性が低いと感じる	4	3	2	1
⑦その他(自由回答)				

問3. 国道158号(平湯～日面)にはどのような道路の機能が必要だと思いますか？

以下の問2、問3の各設問について、4段階で評価してください。

4.強く思う 3.どちらかというと思う 2.どちらかというと思わない 1.全く思うわない

道路機能	あなたの評価の程度			
①広域移動にかかる速達性・定時性の向上	4	3	2	1
②観光地の速達性・周遊性の向上	4	3	2	1
③高度な医療を提供する病院への速達性の向上	4	3	2	1
④線形不良区間の解消(安全な道路構造)	4	3	2	1
⑤積雪時における走行性の確保	4	3	2	1
⑥災害時における移動確実性の確保	4	3	2	1
⑦その他(自由回答)				

問4. この区間の道路整備の必要性や今後の方向性について、ご意見をお書きください。(自由回答)

文字数を削減し
フォントサイズを
拡大

設問部分を
白地に修正

Webアンケートに
誘導するための
QRコードを追加

評価の高低が
直観的に分かるよう
凡例を追加

ご協力ありがとうございました。

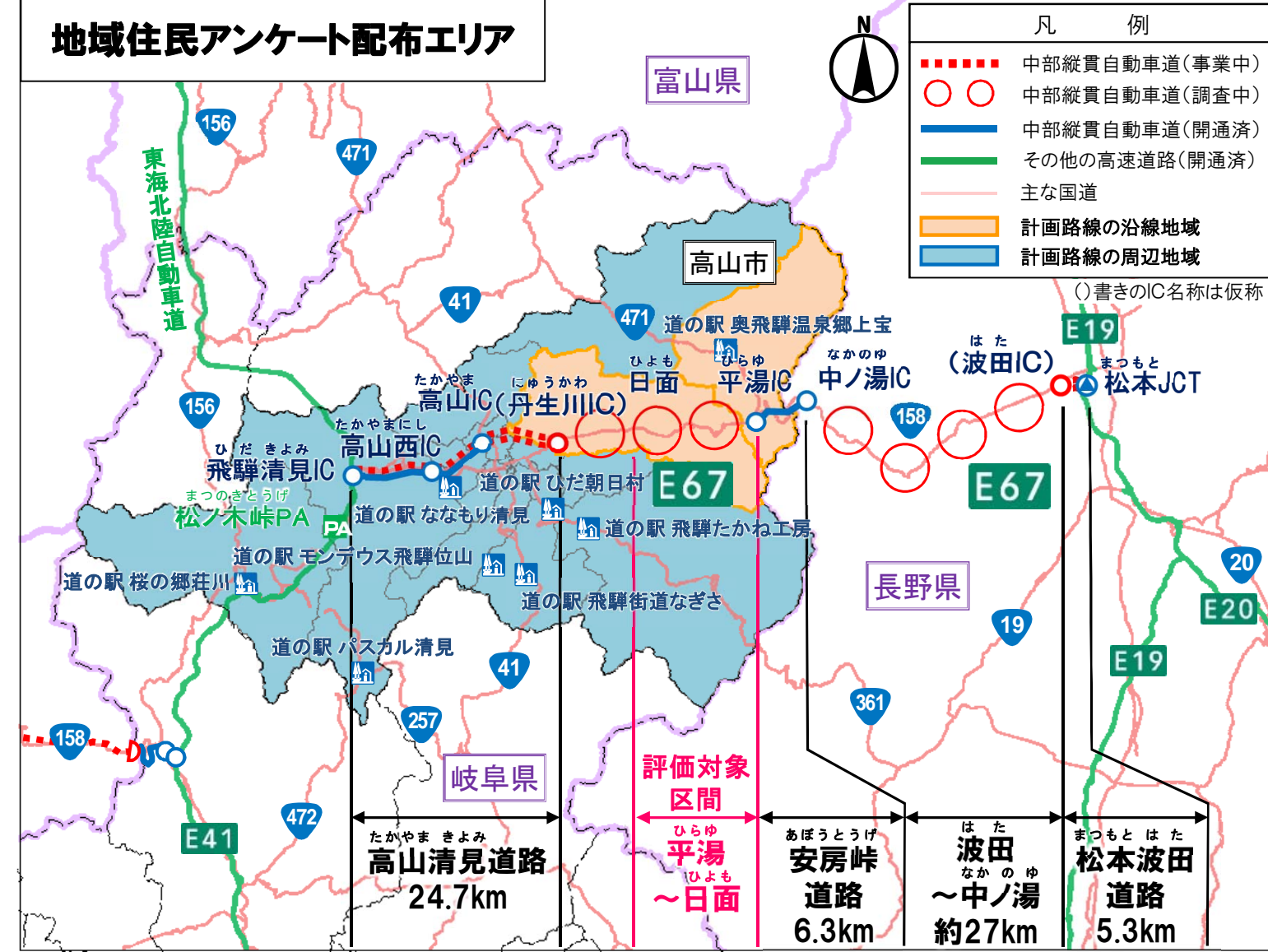
2.第1回意見聴取の結果

2. 第1回意見聴取の結果 2-1)意見聴取の概要

- 意見聴取期間は、令和3年1月27日(水)～3月26日(金)まで実施。
- 対象は、地域住民、道路利用者、地方公共団体、各種団体にアンケート・ヒアリングを実施。

●第1回意見聴取の概要

調査項目		対象	配布数	回収数	回収率
地域住民アンケート(※1)	沿線住民	郵送アンケート(全戸配布) ・概ねのルート帯が通過する地域(高山市丹生川小学校区、栃尾小学校区在住の方)	2,000	891 ※WEB回答含む	45%
	周辺住民	郵送アンケート(全戸配布) ・上記以外の高山市内在住の方	34,000	10,490 ※WEB回答含む	31%
	小計			36,000	11,381
アンケート 道路利用者アンケート	広域利用者	Webアンケート(国土交通省HP) ・国道158号の利用経験がある方 ・道の駅(福井市4箇所、松本市2箇所)	—	367	—
		留め置きアンケート ・道の駅(高山市8箇所) ・東海北陸自動車のPA(1箇所) ・飛騨・高山観光コンベンション協会 中橋観光案内所	—	32	—
	小計		—	399	—
	地域の業務上利用者	郵送アンケート ・高山商工会議所会員企業 ・飛騨・高山観光コンベンション協会 会員企業 ・飛騨高山温泉組合会員企業 ・飛騨高山旅館ホテル協同組合 会員企業 ・飛騨農業協同組合会員企業	—	75	—
小計		—	75	—	
合計			—	11,855	—
地方公共団体ヒアリング		・岐阜県、高山市、飛騨市、下呂市			
ヒアリング 各種団体ヒアリング	経済・産業団体ヒアリング	・高山商工会議所 ・飛騨・高山観光コンベンション協会 ・飛騨高山温泉組合 ・飛騨高山旅館ホテル協同組合 ・飛騨農業協同組合 ・トラック協会(岐阜県、富山県、石川県) ・トラック協会会員企業(長野県3社、福井県4社) ・全国旅行業協会岐阜県支部 ・日本旅行業協会中部事務局	—	—	—
	県警・消防ヒアリング	・高山警察署 ・高山市消防本部 ・松本市消防本部			



周知方法：記者発表、ポスター掲示、高山市広報誌
高山国道事務所HPへのバナー貼り付け

配布方法：①住民アンケートは、全戸配布
※Webアンケートも回答可能
②道路利用者アンケートは、「道の駅」やPA、
観光案内所へアンケート用紙設置
別途Webアンケート実施

回収方法：①郵便ポストへの投函
②「道の駅」等に投函ボックスを設置

期間：約2ヶ月
(令和3年1月27日(水)～3月26日(金))

留め置きアンケート設置箇所：

道の駅(高山市)	ななもり清見、飛騨たかね工房、飛騨街道なぎさ、桜の郷 荘川、モンデウス飛騨位山、バスカル清見、ひだ朝日村、奥飛騨温泉郷上宝
道の駅(福井市)	一乗谷あさくら水の駅 九頭竜、禅の里、恐竜溪谷かつやま
道の駅(松本市)	風穴の里、今井恵の里
・隣接PA利用者	松ノ木峠PA
・観光案内所利用者	飛騨高山観光コンベンション協会 中橋観光案内所

(※1) 住民アンケートを分析した結果、上記の沿線地域と周辺地域で、国道158号の利用状況に相違が見られたため(P13参照)、住民を沿線住民と周辺住民に分割表示

2. 第1回意見聴取の結果 2-2)回答者属性

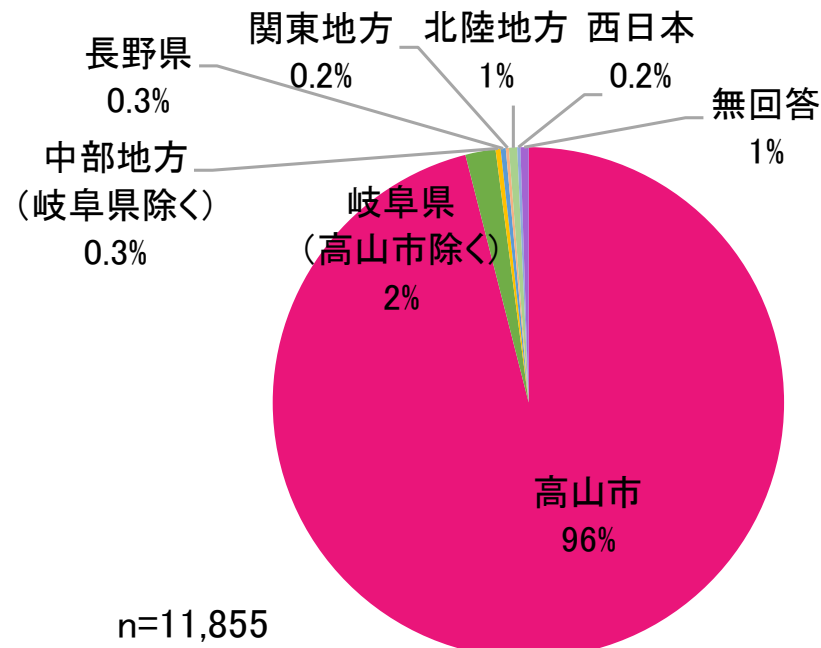
- 沿線住民891人、周辺住民10,490人、広域利用者399人、地域の業務上利用者75団体から意見聴取を実施。
- 回答者の居住地は、高山市内が9割以上を占めているが、広域利用者では、岐阜県(高山市を除く)のほか、北陸地方や関東地方など多方面からの意見を得られる結果となった。
- 回答者は男性の割合が約7割であり、年齢はどの年代からも意見を得られる結果となった。
- 回答者の自動車利用頻度は、約8割が「ほぼ毎日」利用と回答。

●第1回意見聴取のアンケート回収状況

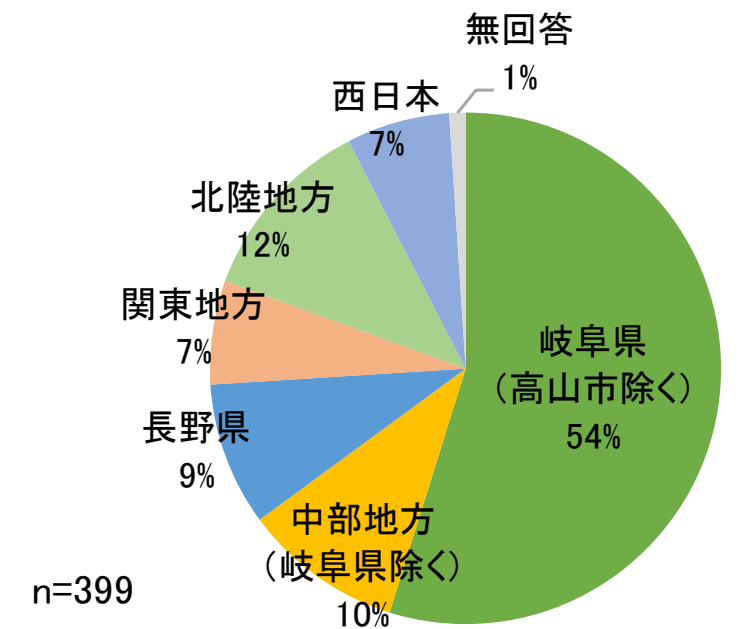
分類		回収数
地域住民	沿線住民	891
	周辺住民	10,490
	小計	11,381
道路利用者	広域利用者	399
	地域の業務上利用者	75
合計		11,855

●回答者全体の属性

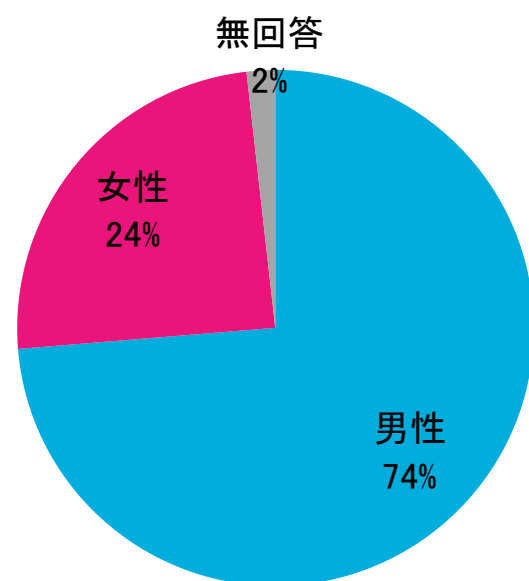
■居住地



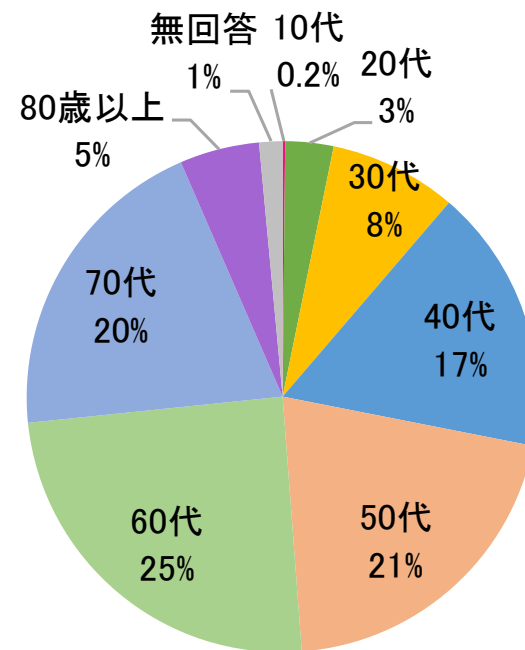
■居住地(広域利用者)



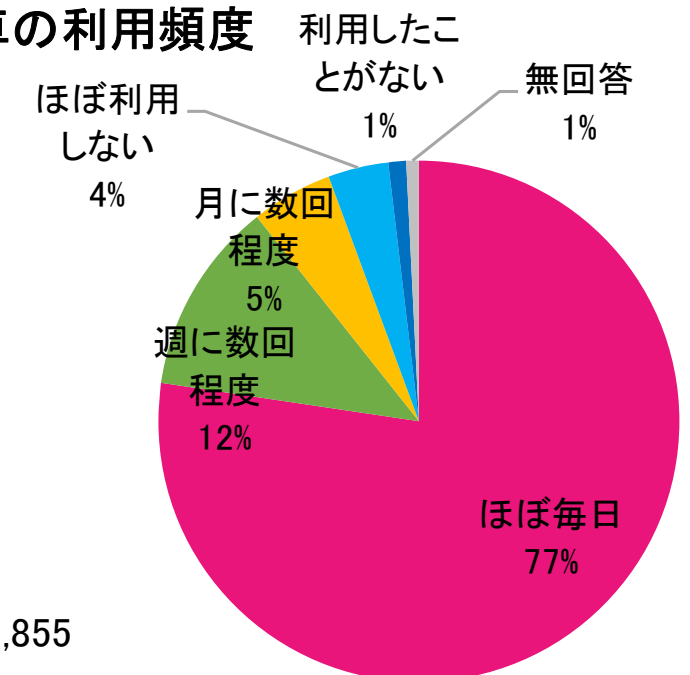
■性別



■年齢



■自動車の利用頻度



2. 第1回意見聴取の結果 2-3)回答者の国道158号の利用状況①

- 国道158号(平湯～日面)の利用頻度については、沿線住民は、約8割が月数回以上、約4割が週数回以上利用し、利用目的は通勤・通学や通院を含め「日常的な利用」が約7割、高山市を目的地とする交通が約7割と多い。
- 周辺住民は、約4割が月数回以上利用し、利用目的は「観光」と「仕事」を含め約9割、目的地は高山市が約3割、松本市が約2割。

●沿線住民と周辺住民の国道158号の利用状況

	国道158号(平湯～日面)の利用有無	国道158号(平湯～日面)の利用目的	国道158号(平湯～日面)の利用時の主な目的地
沿線住民	<p>n=891</p>	<p>n=891</p>	<p>n=891</p>
周辺住民	<p>n=10,490</p>	<p>n=10,490</p>	<p>n=10,490</p>

2. 第1回意見聴取の結果 2-3)回答者の国道158号の利用状況②

- 広域利用者は、約4割が月数回以上利用し、「観光」を目的とする利用が約7割と多く、目的地は高山市が約4割、松本市が約2割。
- 地域の業務上利用者は、全ての方が週数回以上利用し、利用目的は「営業」が約4割、「運送・運搬」が約2割と多く、目的地は高山市が約4割で、関東・東北方面も一定量存在。

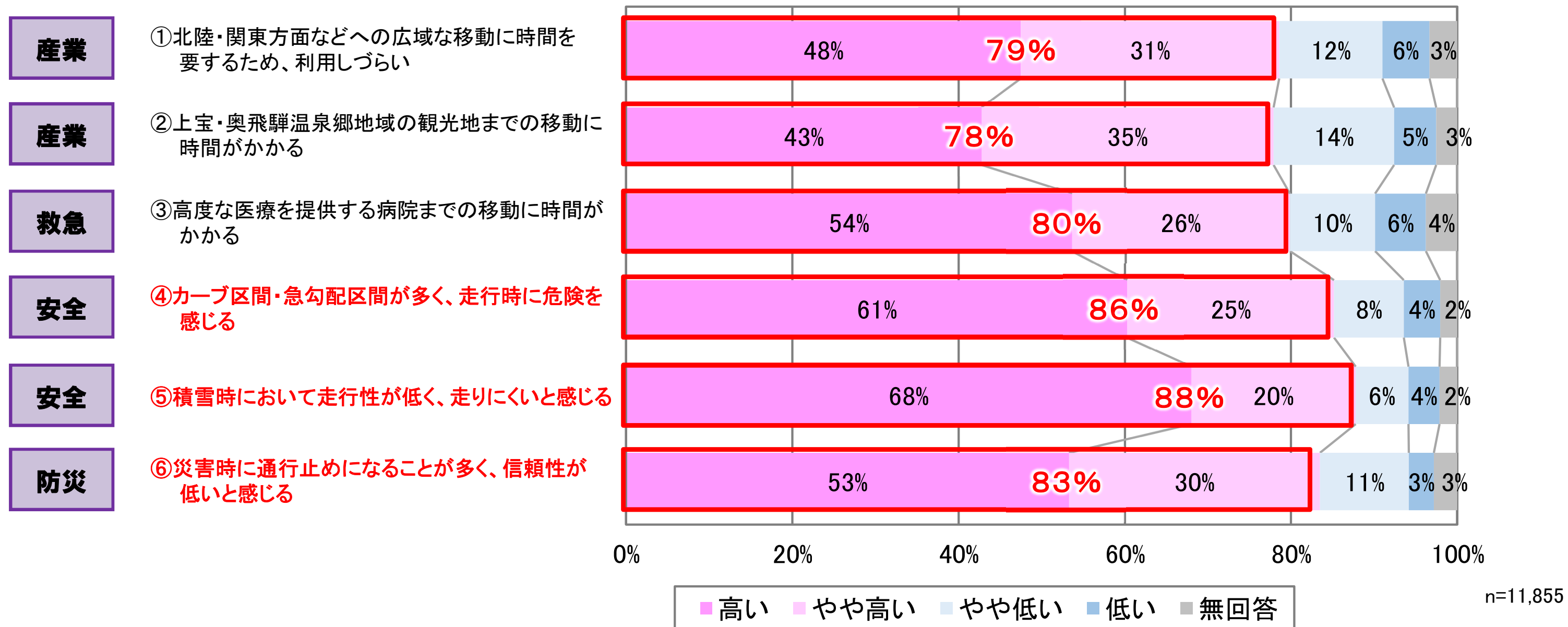
● 広域利用者と地域の業務上利用者の国道158号の利用状況

	国道158号(平湯～日面)の利用有無	国道158号(平湯～日面)の利用目的	国道158号(平湯～日面)の利用時の主な目的地
広域利用者 n=399	<p>約4割が月数回以上利用</p>	<p>観光が7割</p>	<p>高山市が約4割、松本市が約2割</p>
地域の業務上利用者 n=75	<p>全員が週数回以上利用</p>	<p>営業が約4割 運送・運搬が約2割</p>	<p>高山市が約4割</p>

2. 第1回意見聴取の結果 2-4)交通の課題① (全属性)

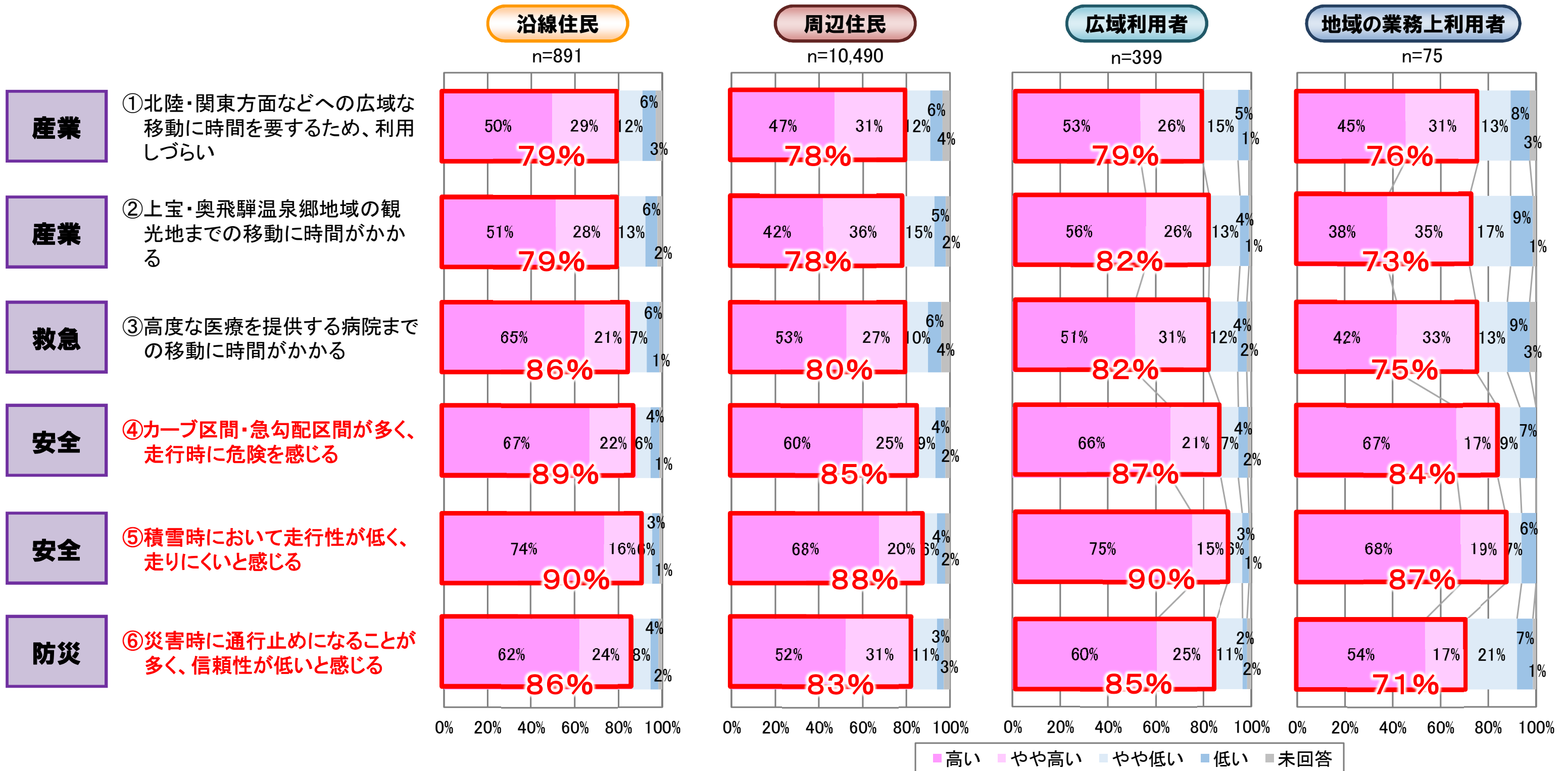
- 交通の課題については、産業、救急、安全、防災の4つの政策目標（案）に関する6項目について確認し、全ての項目で、約8割の方が課題と認識。
- 特に「④カーブ区間・急勾配区間が多く、走行時に危険を感じる」「⑤積雪時において走行性が低く、走りにくいと感ずる」「⑥災害時に通行止めになることが多く、信頼性が低いと感じる」が8割を超える。

回答者全体



2. 第1回意見聴取の結果 2-4)交通の課題② (属性別)

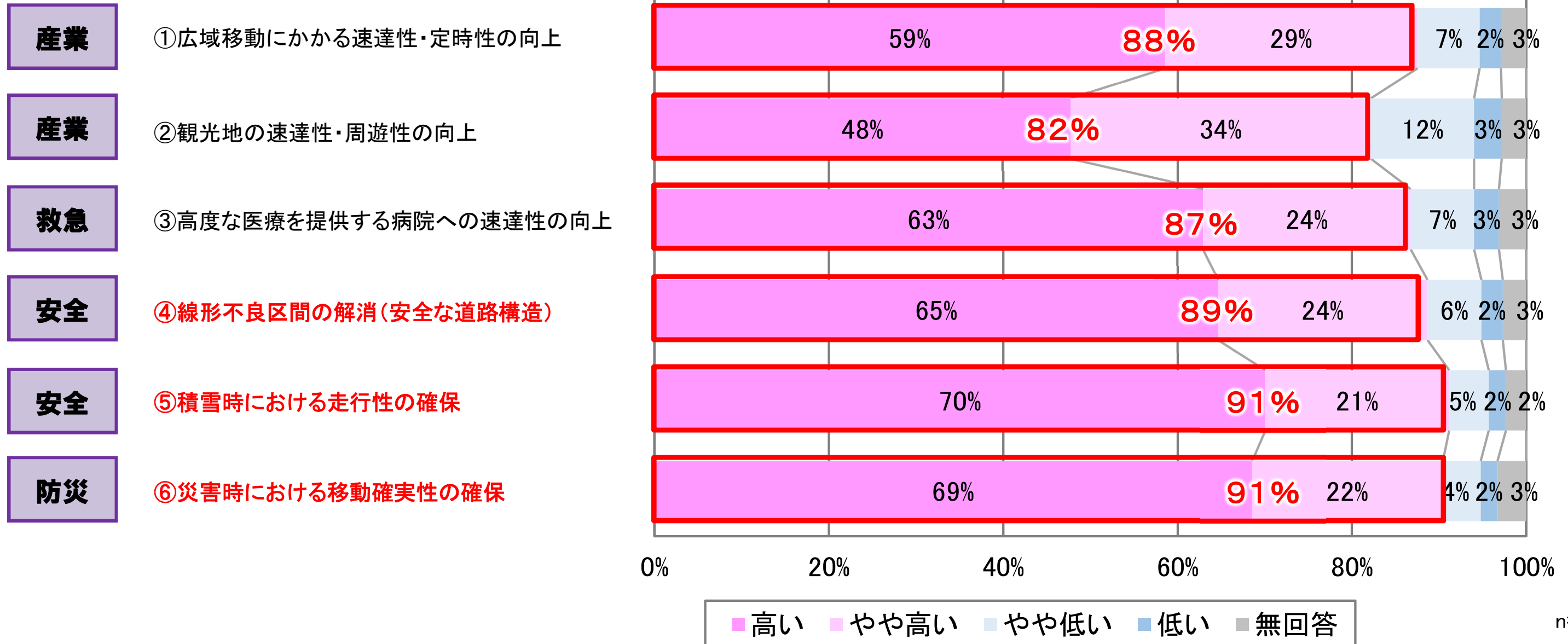
■全属性において、「⑤積雪時において走行性が低く、走りにくいと感じる」が最も大きな課題として認識している。
 ■次いで「④カーブ区間・急勾配区間が多く、走行時に危険を感じる」や「⑥災害時に通行止めになることが多く、信頼性が低いと感じる」が大きな課題と認識されている。



2. 第1回意見聴取の結果 2-5)必要な道路の機能① (全属性)

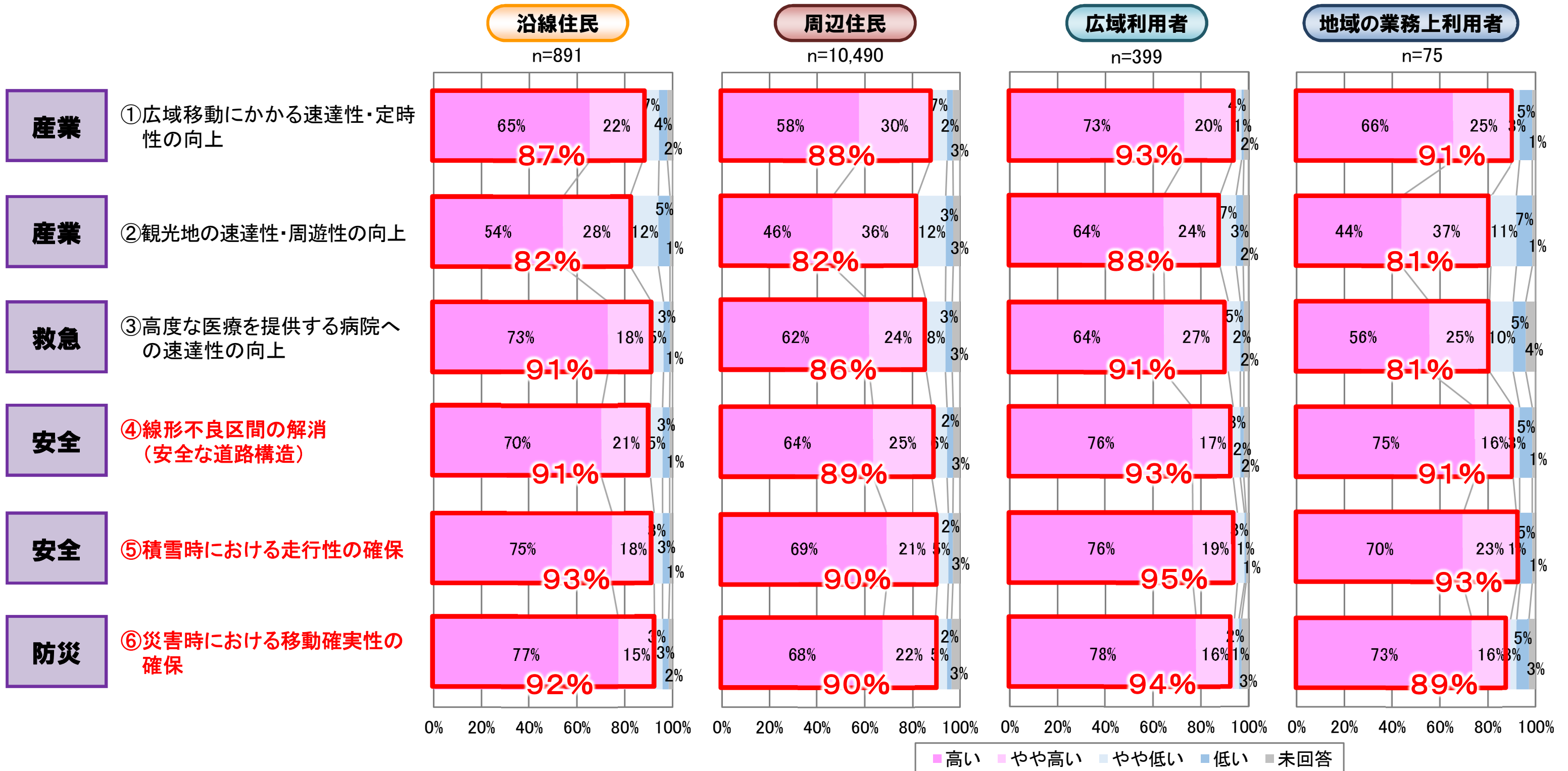
- 必要な道路の機能については、産業、救急、安全、防災の4つの政策目標（案）に関する6項目について確認し、全ての項目で、8割以上の方が必要な機能として回答。
- 特に、「④線形不良区間の解消（安全な道路構造）」「⑤積雪時における走行性の確保」「⑥災害時における移動確実性の確保」が必要な機能との意見が多い。

回答者全体



2. 第1回意見聴取の結果 2-5)必要な道路の機能② (属性別)

- 全属性において、「⑤積雪時における走行性の確保」が最も必要な道路の機能として回答。
- 沿線住民・周辺住民・広域利用者は、「⑥災害時における移動確実性の確保」が次いで必要な道路の機能として回答。
- 業務上利用者は、「④線形不良区間の解消(安全な道路構造)」が次いで必要な道路の機能として回答。



1. 第1回意見聴取の結果 2-6)アンケート自由意見

- 産業、救急、安全、防災の4つの政策目標（案）に対して、課題や期待の声が寄せられた他、安全、防災の観点でトンネルでの整備を求める声が寄せられた。
- その他、早期開通や自然環境への配慮を求める声も寄せられている。

区分 (政策目標(案))	交通の課題	必要な道路の機能
【産業】 速達性・定時性の向上 による産業活性化の支援	<ul style="list-style-type: none"> ・長野県から東京までは時間が短いですが、高山市から長野県的高速道路まで時間がかかり過ぎる。（周辺住民/高山市） ・福井や長野は隣県でありながらすごく遠い存在です。経済、観光の発展にはどうしても道路の整備が必要だと思います。（周辺住民/高山市） ・高山ICから長野方面の道路が大きな課題です。もう少しアクセスが良いと移動のストレスも軽減され訪問の機会も絶対的に増えると確信しています。特に、高山ICから平湯ICまでの時間がかかりすぎます。どうか早期開通を強く望みます。（広域利用者/多治見市） 	<ul style="list-style-type: none"> ・長野県や奥飛騨温泉郷をもっと利用しやすくなると思います。関東へのアクセスもより近くなるので期待しています。（沿線住民/高山市） ・高山の街並み、平湯温泉、上高地などの世界的な観光地を結び、安全で快適に通行できる高規格な道路が必要。（広域利用者/富山市） ・整備されれば、物流が良くなる等、観光地としてメリットが多いと思うので早期の整備を希望します。（周辺住民/高山市） ・冬期にスキー場に行きたくても道路状況が悪く、事故も多いため行く気になれず、別のスキー場に行ったりする。地元の間でも危険に感じているので良い道路にしてほしいです。（周辺住民/高山市）
【救急】 救急搬送時の速達性・安定性の確保	<ul style="list-style-type: none"> ・急病の人が出た場合病院まで1時間以上かかるので助かる命も助からなく危険であるので是非実現してほしい。（沿線住民/高山市） ・市街地まで1時間以上かかり、万が一救急の際には一刻を争います。（周辺住民/高山市） 	<ul style="list-style-type: none"> ・高度な医療を提供する病院を選択できるようにするためにも道路整備は必要（重要）です。（周辺住民/高山市） ・救急搬送の時間短縮が実現する道路が必要だと思う。（周辺住民/高山市） ・一番の必要性を感じるのは、やはり高度な医療を提供する病院までの移動に時間がかかるため早急な道路（インフラ）整備を望みます。（沿線住民/高山市）
【安全】 交通安全、積雪時の走行性の向上	<ul style="list-style-type: none"> ・昔の平湯峠を比べれば、現道は格段に良くなったが、まだ、急勾配やカーブが多く、特に冬には危険を感じる。さらに、都会の峠道になれないドライバーにはなおさらである。（周辺住民/高山市） ・日面・平湯間はカーブが多く冬期間スリップ事故や災害時の迂回路がない。（周辺住民/高山市） ・関東方面へ行くときには必ず利用するが、急勾配、急カーブが多いので運転しづらい。特に冬期は厳しい。（広域利用者/白川村） ・急なカーブが多く運転に神経を使う。冬期の救急搬送は大変だと思う。（沿線住民/高山市） 	<ul style="list-style-type: none"> ・カーブや急勾配区間が多い為移動に時間がかかる。また、事故を起こしやすい道路なため安全な道路で時間短縮の可能な道路にしてほしい。（業務上利用者/高山市） ・雪が降ると交通事故も多く、できるだけ通らないようにしているため、早期の開通を望みます。（業務上利用者/高山市） ・積雪も多く又カーブが大変危険 出来る事ならトンネルにて、安全性を確保してもらいたい。（周辺住民/高山市） ・高山市街地より平湯方面への道(R158)は道幅も狭く、カーブが多い。観光バスや大型トラックもよく通り、冬などは特に危険、トンネルで改善してほしい。（周辺住民/高山市）
【防災】 被災時にも機能する信頼性の高いネットワークの確保	<ul style="list-style-type: none"> ・仕事をするため週に1回ほど通うが今は土砂崩れの復旧作業で信号も多く道も悪いです。雪道は平湯トンネル出たから、崖から落ちていきそうヒヤヒヤしながら走行しています。迂回路が無いので万が一の事があると困ります。（周辺住民/高山市） ・大雨で孤立した際に早く中部縦貫道ができないと困ると思った。（沿線住民/高山市） ・昨年の7月豪雨災害時には、孤立となり大変でした。一日も早く代替となる道路をお願いします。（沿線住民/高山市） 	<ul style="list-style-type: none"> ・丹生川～平湯間は、積雪、凍結、土砂崩れなどがあるので国道158号線と連携を取りつつ、費用がかさみますがなるべくトンネルを使った道路になるのが望ましいと思います。（広域利用者/富山県） ・またいつ災害が起こるか分からないので、命を守る道路として早期に整備してほしい。（周辺住民/高山市） ・様々な機能を担う重要路線なので、冬季間でも豪雨時でも安全に安心して利用できる道路整備を切望します。（沿線住民/高山市） ・災害に強い道路(集落の孤立状態とならない)。一本がダメでも、う回出来ることが必要。（沿線住民/高山市）

1. 第1回意見聴取の結果 2-7)ヒアリング結果

- 産業、救急、安全、防災の4つの政策目標（案）に対して、課題や期待の声が寄せられた。
- その他、早期開通を求める声も寄せられている。

区分 (政策目標(案))	交通の課題	必要な道路の機能
【産業】 速達性・定時性の向上 による産業活性化の支援	<ul style="list-style-type: none"> ・国道158号は、所要時間がかかるとともにカーブ区間が多いため、他の道路を通行した方が利便性が高い。(福井県トラック協会会員企業) ・国道158号は目的地まで最短距離で搬送することができない。結局、所要時間が長い。(福井県トラック協会会員企業) ・国道158号は、石川から関東方面に向う場合のルートとして想定していない。冬季は雪による通行止めの心配がある。東海北陸道の飛騨トンネルで危険物積載車両が通行できないため、輸送ルートにしておらず、長野方面に大きく迂回している会員企業もある。(石川県トラック協会) ・降雪時の北陸道や国道8号線の通行止めが、問題になっている。迂回路として活用できれば、使用する会社も増えると思う。(福井県トラック協会会員企業) 	<ul style="list-style-type: none"> ・飛騨地域と長野県や関東方面を最短で結ぶネットワークとして、観光、物流等様々な面で重要な路線であり、早急な整備が望まれている。道路整備により時間短縮が図られれば、観光や物流など産業面での効果は非常に高い。(飛騨市) ・北陸地方から首都圏への最短ルートであり、首都圏と飛騨地域を結ぶ主要道路として早期の整備を強く望む。(商工会) ・当該区間は地域住民にとっては大切な生活道路であるが、信州や関東圏等からの方にとっては観光や産業の基幹道路と利用されているため、通年安全で安心して利用できる交通網として中部縦貫道の早期完成を期待している。(コンベンション協会) ・国道158号は、松本市までの重要な道路であり、首都圏に行くためにも重要な路線であるので、早期に改良してほしい。中部縦貫自動車道を早期に完成させて首都圏からのアクセスを良くしてほしい。(旅館ホテル協同組合)
【救急】 救急搬送時の速達性・安定性の確保	<ul style="list-style-type: none"> ・平湯～日面間の東側については道路改良はされているものの、縦断勾配がきつく、カーブが多いため、救急搬送の安定性に課題。特に冬季は安全性に不安があり、スリップ事故やスタック車両による渋滞が発生するため、搬送に時間を要する。(高山市) ・高山市消防本部との消防相互応援協定に基づき応援要請があった時に国道158号を利用するが、既存道路は土砂崩落、大雪等になった際は、高山市との通行が遮断されてしまう。(松本広域消防局) 	<ul style="list-style-type: none"> ・積雪時においては、万全かつ迅速な凍結対策及び除雪を行っていただき、救急搬送時の通行性を確保してほしい。(松本広域消防局) ・上宝・奥飛騨温泉郷地域からの救急搬送時間が短縮されること。(高山消防本部) ・救急搬送にあたり、この区間は急カーブや急勾配など危険箇所が多くあり、冬期間を含めた安全性の確保とともに、災害時にも確実に通行できるネットワークの確保を望む。(飛騨市)
【安全】 交通安全、積雪時の走行性の向上	<ul style="list-style-type: none"> ・平湯～日面間の東側はカーブ区間や急勾配箇所が多く、積雪が多いため圧雪状態となりスタックする車が多く、特に冬季は危険である。(飛騨市) ・カーブが多く、冬は特に危険。ノーマルタイヤの事故が多い。(高山署) ・カーブが多いため大型車とのすれ違いの際、危険を感じることがあり、特に冬場は積雪量も多く急こう配のためスリップすることも危険である。(商工会) ・傾斜のあるカーブが多いため、特に冬季にスリップの危険性を感じることがある。(コンベンション協会) ・国道158号沿いにある宿泊施設まで温泉をタンクローリーで週一程度配湯しているが、急カーブ等があり走行しにくい。(温泉組合) ・冬季間は、凍結があり走行しにくく、安全性が低い。カーブが多く、急こう配な坂のため走行しにくい。(旅館ホテル協同組合) 	<ul style="list-style-type: none"> ・事故多発箇所を避けるような道路。(高山署) ・特に冬場は、降雪や凍結により移動時間がかかるため、安全性、確実性を確保。(商工会) ・冬季は、日影が多いので凍結や積雪が多く走行しにくいので、安全に走行できるようにしてほしい。(旅館ホテル協同組合)
【防災】 被災時にも機能する信頼性の高いネットワークの確保	<ul style="list-style-type: none"> ・令和2年7月豪雨では沿線で大規模な土石流や法面決壊などの道路災害が発生し、一時通行が出来なくなり、平湯地域は孤立状態、温泉街の観光客は帰省出来ないなど、大きな影響が発生した。(岐阜県) ・当区間は7月豪雨において被災し、長期間通行止めとなり、迂回路がないため通勤通学など日常生活に大きな支障が生じた。また、応急復旧後の片側交互通行により、休日等は大変混雑し、観光客のイメージダウンにつながった。(高山市) ・令和2年の災害時には通行できないことがあり困った。(飛騨市) ・最近頻りに発生している豪雨による道路の損壊箇所が多くあり安全性が低い。(商工会) 	<ul style="list-style-type: none"> ・災害時における移動の確実性。(高山署) ・昨年、豪雨のため土砂崩れがあり通行止めになったので、安全を確保してほしい。災害時迂回路がないので、常に走行できるようにしてほしい。(旅館ホテル協同組合)

1. 第1回意見聴取の結果 2-8)まとめ

■ アンケートやヒアリング結果から得られた地域の意見を踏まえ、政策目標（案）は妥当であると確認された。

■ 第1回意見聴取結果のまとめ

解決すべき課題の把握・原因分析			政策目標の設定			政策目標(案)
第1回意見聴取 問2：交通の課題	第1回意見聴取結果 上段：アンケート結果 下段：アンケート自由意見、ヒアリング結果	第1回意見聴取 問3：必要な道路の機能	第1回意見聴取結果 上段：アンケート結果 下段：アンケート自由意見、ヒアリング結果			
産業	①北陸・関東方面などへの広域な移動に時間を要するため、利用しづらい	48% 79% 31% 12% 6% 3%	①広域移動にかかる速達性・定時性の向上	59% 88% 29% 7% 2% 3%	速達性・定時性の向上による産業活性化の支援	
	②上宝・奥飛騨温泉郷地域の観光地までの移動にかかる	43% 78% 35% 14% 5% 3%	②観光地の速達性・周遊性の向上	48% 82% 34% 12% 3% 3%		
救急	③高度な医療を提供する病院までの移動にかかる	54% 80% 26% 10% 6% 4%	③高度な医療を提供する病院への速達性の向上	63% 87% 24% 7% 3% 3%	救急搬送時の速達性・安定性の確保	
安全	④カーブ区間・急勾配区間が多く、走行時に危険を感じる	61% 86% 25% 8% 4% 2%	④線形不良区間の解消（安全な道路構造）	65% 89% 24% 6% 2% 3%	交通安全、積雪時の走行性の向上	
	⑤積雪時において走行性が低く、走りにくいとを感じる	68% 88% 20% 6% 4% 2%	⑤積雪時における走行性の確保	70% 91% 21% 5% 2% 2%		
防災	⑥災害時に通行止めになることが多く、信頼性が低いと感じる	53% 83% 30% 11% 3% 3%	⑥災害時における移動確実性の確保	69% 91% 22% 4% 2% 3%	被災時にも機能する信頼性の高いネットワークの確保	
その他	【評価項目以外の意見】 ・国道158号長野区間の整備要望 ・自然環境への配慮を求める意見 など					

■ 高い ■ やや高い ■ やや低い ■ 低い ■ 未回答

アンケート、ヒアリング結果からも第1回計画段階評価で設定した政策目標(案)は妥当である

3.対応方針の検討

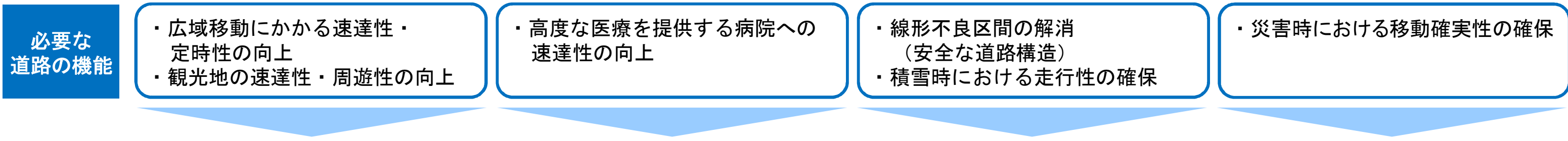
3. 対応方針の検討 3-1) 対策案の立案までの流れ

- 第1回意見聴取で確認した政策目標や必要な道路の機能に基づき、ルート帯案を設定する。
- 設定したルート帯案が各政策目標にどのように資するかなどを整理し、第2回意見聴取で地域がより重視するルート帯案選定のポイントを設定することで、地域のニーズを十分に踏まえたものであるかを確認する。

■ 飛騨地域の課題を早期に解決する政策目標を設定



■ 対策案の検討

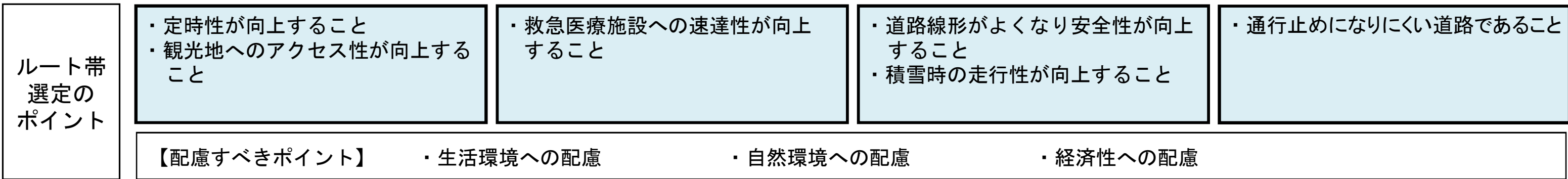


飛騨地域の課題を解決し、地域の将来像を実現するルート帯案を設定

案① 全線バイパス案

案② 現道改良+バイパス案

案③ 現道改良案



3. 対応方針の検討 3-2) 路線の検討条件

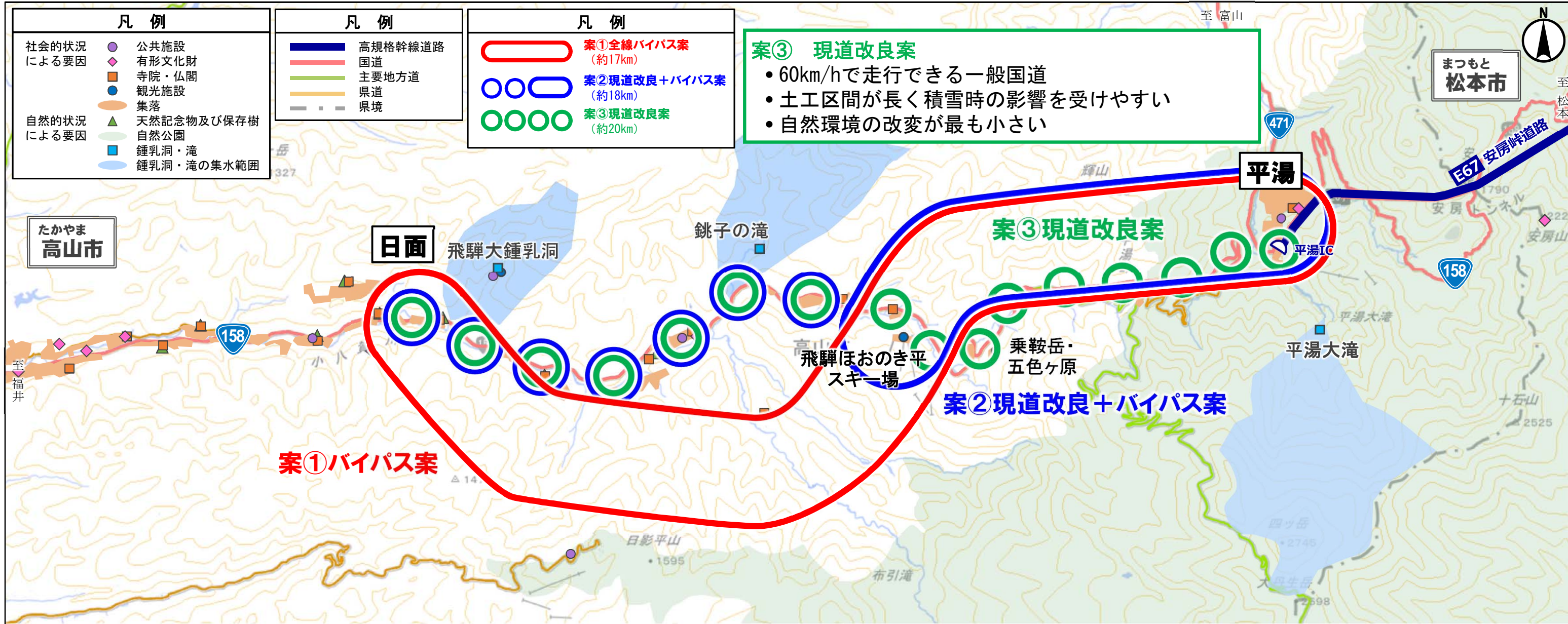
■ ルート帯を検討する上での主なコントロールポイントとして、下記を設定。

- ・ 社会状況による要因 : 公共施設、有形文化財、寺院・仏閣、観光施設、集落
- ・ 自然的状況による要因 : 天然記念物及び保存樹、自然公園、鍾乳洞・滝の集水範囲



3. 対応方針の検討 3-3)ルート帯案の概要

- バイパス区間は設計速度80km/hの自動車専用道路とし、現道改良区間については設計速度を60km/hに設定。
- バイパス区間(案①、案②)は、鍾乳洞・滝への影響に配慮するため、鍾乳洞・滝の集水範囲を回避。
- 現道改良区間(案②、案③)は、国道158号を活用し、現道の線形不良箇所を部分的に改良。



案③ 現道改良案

- 60km/hで走行できる一般国道
- 土工区間が長く積雪時の影響を受けやすい
- 自然環境の改変が最も小さい

案① 全線バイパス案

- 80km/hで走行できる自動車専用道路
- 主にトンネル構造となるため、積雪時の影響を受けにくい

案② 現道改良+バイパス案

[バイパス区間]

- 80km/hで走行できる自動車専用道路
- 主にトンネル構造となるため、積雪時の影響を受けにくい

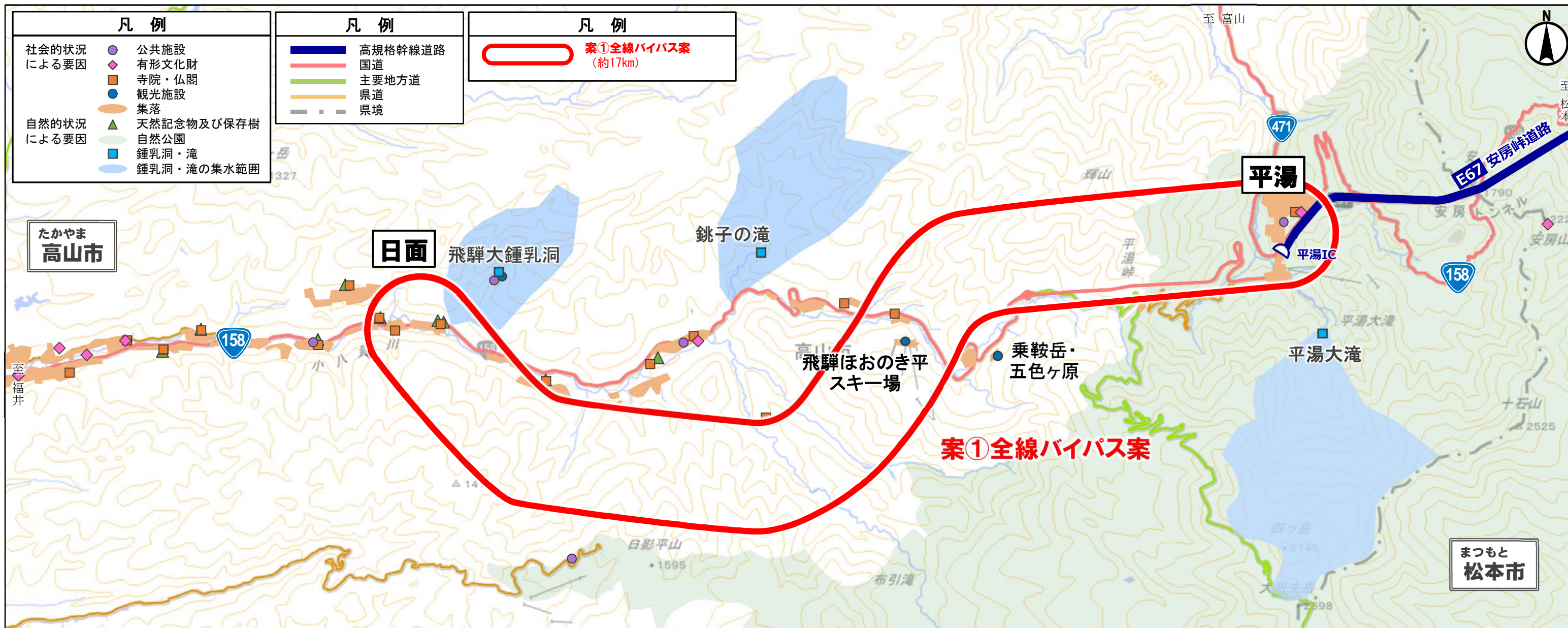
[現道改良区間]

- 60km/hで走行できる一般国道
- 土工区間が長く積雪時の影響を受けやすい

■ルート概要：鍾乳洞・滝の集水範囲を回避し、全線をバイパス整備する案

【ルート帯の特徴】

- ・全線をバイパス整備し、80km/hで走行できる自動車専用道路。
- ・主にトンネル構造を想定しているため、積雪時の影響を受けにくい。



案① 全線バイパス案

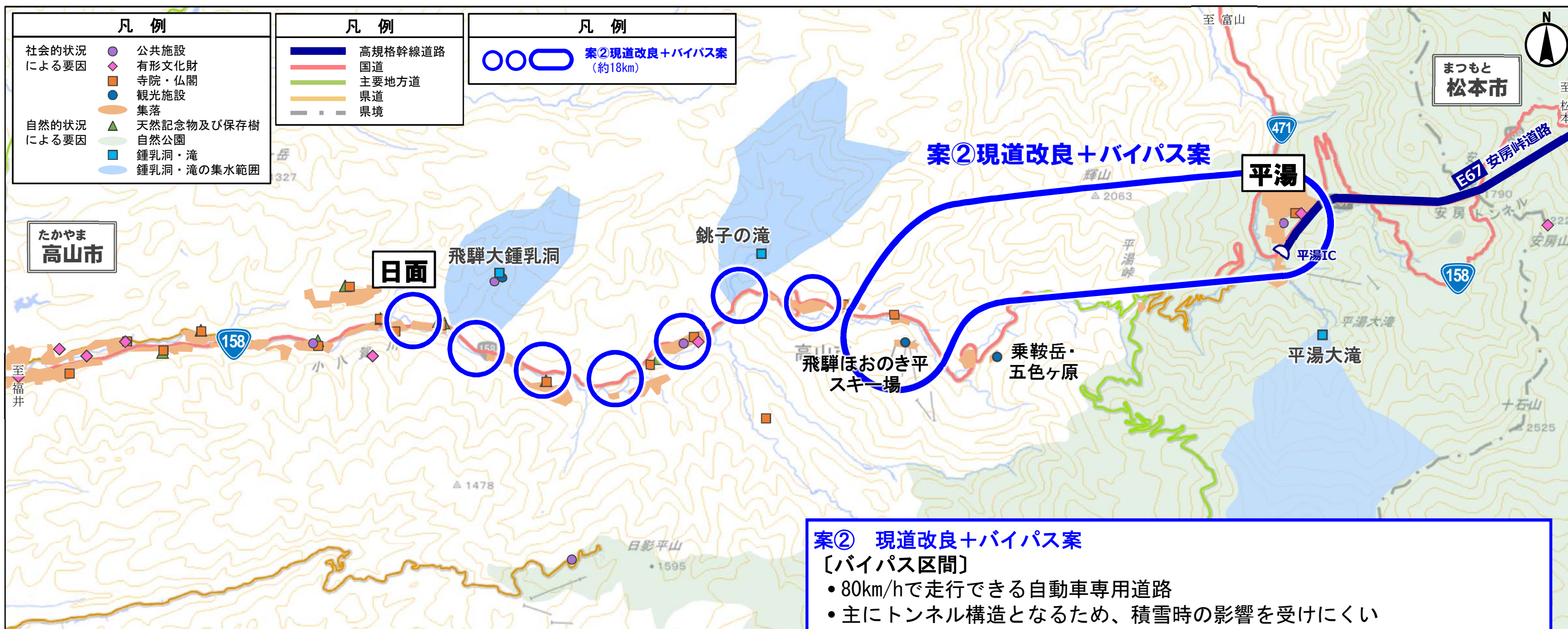
- ・80km/hで走行できる自動車専用道路
- ・主にトンネル構造となるため、積雪時の影響を受けにくい

3. 対応方針の検討 3-3)ルート帯案の概要【案②現道改良+バイパス案】

■ルート概要：冬期積雪時の課題が特に大きい東側はバイパス整備、西側は国道158号を活用し、現道の線形不良箇所を部分的に改良する案

【ルート帯の特徴】

- ・バイパス区間は、80km/hで走行できる自動車専用道路。主にトンネル構造を想定してるため、積雪時の影響を受けにくい。
- ・現道改良区間は、60km/hで走行できる一般国道。現道の線形不良箇所を部分的に改良し回避。
- ・現道を活用するため、土工区間が長く積雪時の影響を受けやすい。



案② 現道改良+バイパス案

〔バイパス区間〕

- ・80km/hで走行できる自動車専用道路
- ・主にトンネル構造となるため、積雪時の影響を受けにくい

〔現道改良区間〕

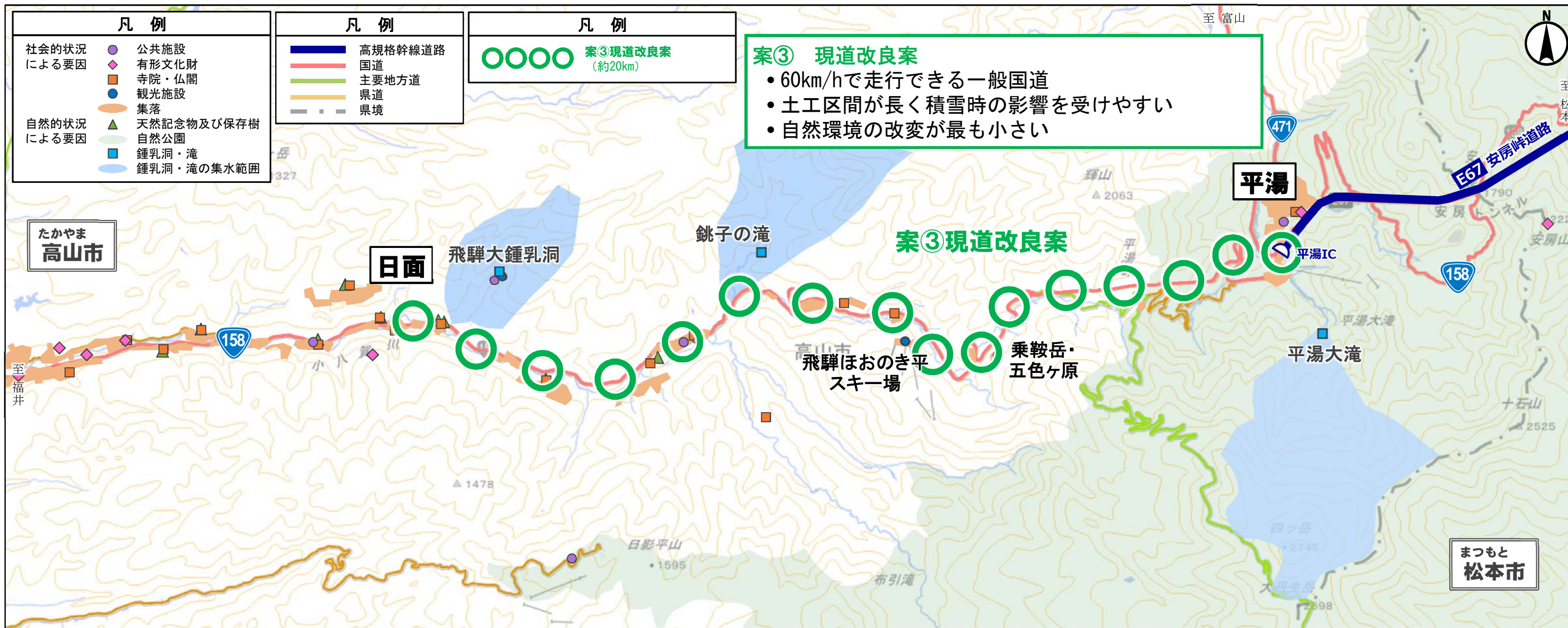
- ・60km/hで走行できる一般国道
- ・土工区間が長く積雪時の影響を受けやすい

3. 対応方針の検討 3-3)ルート帯案の概要【案③現道改良案】

■ルート概要：国道158号を活用し、現道の線形不良箇所を部分的に改良する案

【ルート帯の特徴】

- ・ 60km/hで走行できる一般国道。
- ・ 現道の線形不良箇所を部分的に改良し回避。
- ・ 現道を活用するため、土工区間が長く積雪時の影響を受けやすい。
- ・ 自然環境の改変が最も小さい。



3. 対応方針の検討 3-4)ルート帯案の比較・評価

評価軸			案① 全線バイパス案	案② 現道改良+バイパス案	案③ 現道改良案	
			全線を自動車専用道路でバイパス整備する案	西側は現道改良、東側は自動車専用道路でバイパス整備する案	国道158号を活用し、現道の線形不良箇所を部分的に改良する案	
必要な道路の機能			約17km	約18km	約20km	
ルート選定のポイント			約17km	約18km	約20km	
政策目標	○速達性・定時性の向上による産業活性化の支援	広域移動にかかる速達性・定時性の向上	全線が自動車専用道路であるため定時性に最も優れる	自動車専用道路区間は定時性に優れる	現道を活用するため、他案に比べて定時性に劣る	
		観光地の速達性・周遊性の向上	観光地へのアクセス性が向上すること	全線バイパス整備のため、アクセス性は、他案に比べて劣る	現道改良区間はアクセス性がよい	全線で現道を活用するため、アクセス性は最もよい
	○救急搬送時の速達性・安定性の確保	高度な医療を提供する病院への速達性の向上	救急医療施設への速達性が向上すること	救急医療施設までの時間短縮が最も見込まれる (平湯IC～最寄りの第3次救急医療施設の時間:10分短縮)※	救急医療施設までの時間短縮が見込まれるが、案①に比べて劣る (平湯IC～最寄りの第3次救急医療施設の時間:7分短縮)※	救急医療施設までの時間短縮が見込まれるが、他案に比べて劣る (平湯IC～最寄りの第3次救急医療施設の時間:3分短縮)※
	○交通安全、積雪時の走行性の向上	線形不良区間の解消	道路線形がよくなり安全性が向上すること	規格の高い自動車専用道路ができることで、安全性向上が最も見込まれる	東側は規格の高い自動車専用道路ができ、西側は現道の安全性向上が見込まれるが、案①に比べて劣る	現道の急カーブがなくなり、安全性向上が見込まれるが、他案に比べて劣る
		積雪時における走行性の確保	積雪時の走行性が向上すること	線形がよく、主にトンネル構造を想定しているため、積雪時の走行性向上が最も見込まれる	自動車専用道路区間は積雪時の走行性向上が見込まれる 現道改良区間は土工部が多く、案①に比べて積雪時の走行性に劣る	線形はよいが、土工部が多く、他案に比べて積雪時の走行性に劣る
	○被災時にも機能する信頼性の高いネットワークの確保	災害時における移動確実性の確保	通行止めになりにくい道路であること	全線バイパス整備により代替路を確保	バイパス区間は代替路を確保 現道改良区間は、代替路が確保されない	全線で現道を活用するため、代替路が確保されないことから、他案に比べて劣る
	環境への影響	生活環境への影響	既存集落で住居等の移転が発生しないこと	バイパス整備により、現道沿いの集落を回避するため、影響は最も少ない	バイパス区間は、現道沿いの集落を回避するため、影響は少ない	全線で現道を活用するため、他案に比べて劣る
		自然環境への影響	自然環境を改変しないこと	主にトンネル構造を想定しているため、改変が限定的であるが、他案に比べ劣る	自然環境の改変は限定的であるが、案③に比べて劣る	全線で現道を活用するため、最も自然環境の改変が小さい
	経済性への配慮			約1,500億円～約1,700億円	約1,100億円～約1,300億円	約900億円～約1,100億円

※(現況)ETC2.0データ[R3.1平日]における速度、(案①)80km/h、(案②)バイパス区間80km/h、現道改良区間60km/h、(案③)60km/hとする

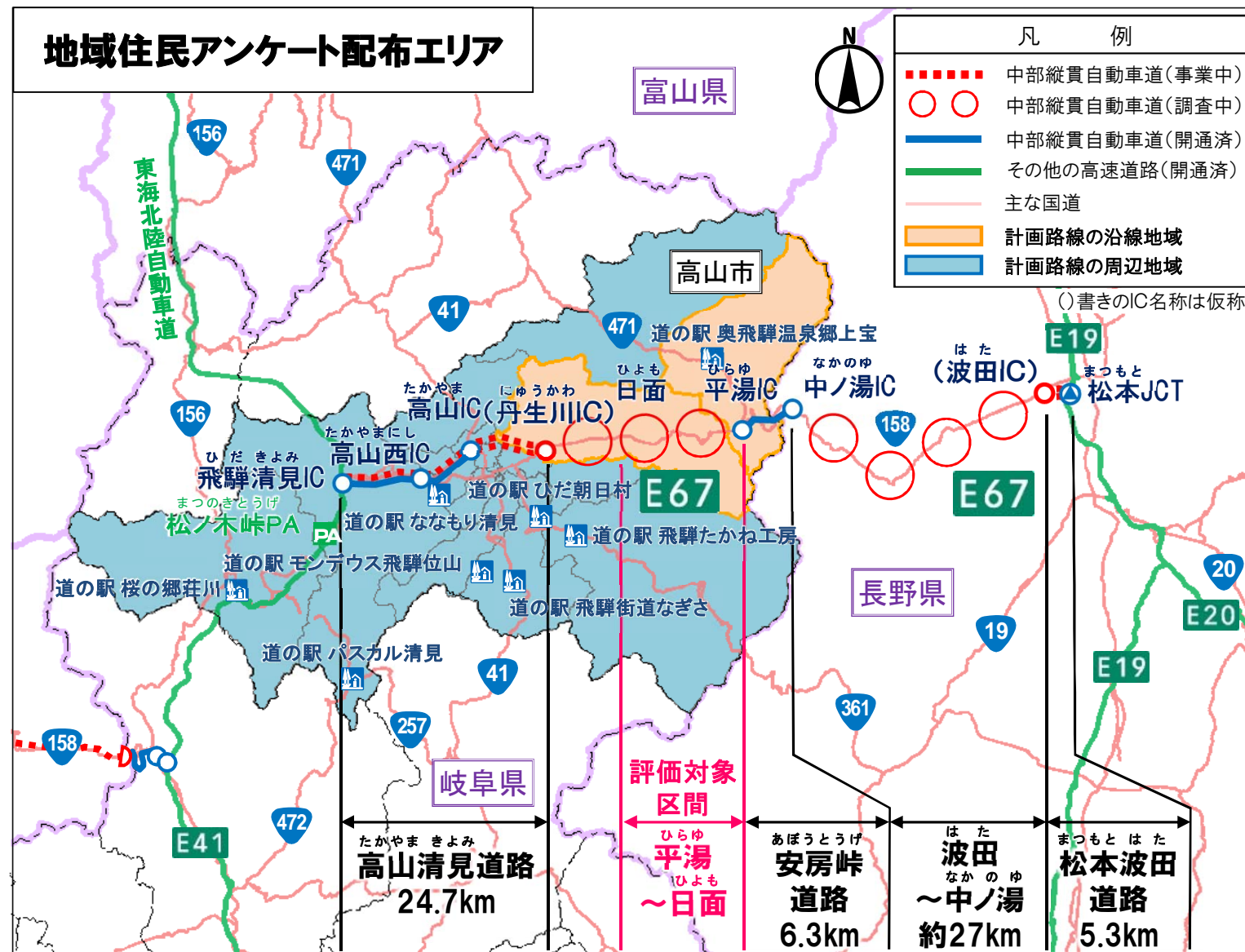
4.第2回意見聴取の方法（案）

4.第2回意見聴取の方法(案) 4-1)意見聴取の方法と対象者①

■地域住民、道路利用者、地方公共団体、各種団体などから、対策案の比較・検討に際して重視すべき項目、配慮すべき項目などに対する意見を幅広く聴取。

■第2回意見聴取の概要

調査項目		対象
アンケート	地域住民アンケート	<ul style="list-style-type: none"> 沿線住民: 郵送アンケート(Web併用) <ul style="list-style-type: none"> 概ねのルート帯が通過する地域(高山市丹生川小学校区、栃尾小学校区在住の方) 周辺住民: 郵送アンケート(Web併用) <ul style="list-style-type: none"> 上記以外の高山市内在住の方
	道路利用者アンケート	<ul style="list-style-type: none"> 広域利用者: Webアンケート(国土交通省HP) <ul style="list-style-type: none"> 国道158号の利用経験がある方 留め置きアンケート: インビュー調査 <ul style="list-style-type: none"> 道の駅(高山市8箇所) 道の駅(高山市8箇所、福井県、長野県) 東海北陸自動車のPA(1箇所) 飛騨・高山観光コンベンション協会中橋観光案内所
		地域の業務上利用者
ヒアリング	地方公共団体ヒアリング	<ul style="list-style-type: none"> 岐阜県、高山市、飛騨市、下呂市
	各種団体ヒアリング	<ul style="list-style-type: none"> 経済・産業団体ヒアリング <ul style="list-style-type: none"> 高山商工会議所 飛騨・高山観光コンベンション協会 飛騨高山温泉組合 飛騨高山旅館ホテル協同組合 飛騨農業協同組合 トラック協会(岐阜県、富山県、石川県) トラック協会会員企業(長野県、福井県) 全国旅行業協会岐阜県支部 日本旅行業協会中部事務局 県警・消防ヒアリング <ul style="list-style-type: none"> 高山警察署 高山市消防本部 松本市消防本部



- ・周知方法: 記者発表、ポスター掲示、国、県、沿線・周辺地域地方公共団体HPへのバナー貼付
- ・配布方法:
 - ①地域住民アンケート調査: 高山市は全戸配布
 - ②道路利用者アンケート調査
 - 広域利用者: webアンケート(国土交通省HPでのアンケート)
 - 留め置き(対象箇所ではアンケート用紙設置)
 - 業務上利用者: 各種団体を通じて対象企業に配布
 - ③上記以外は、対象団体等にヒアリング
- ・回収方法:
 - ①郵便ポスト(webによる回答も可能とする)
 - ②「道の駅」等に投函ボックスを設置
- ・期間: 全体期間約2ヶ月

- 道の駅、高速道路PA、観光施設等への道路利用者アンケートの設置、道の駅等でのインタビュー調査を実施。
- HPやポスターにて周知を行い、回収率向上を狙う。
- 高山国道事務所、沿線自治体にアンケートバナーを掲載し、インターネットによるWebアンケートを実施。
- 商工会等へアンケート内容を説明、周知して回収率向上を図る。

■道の駅での道路利用者アンケートの設置



<道の駅 奥飛騨温泉郷上宝>



<道の駅 九頭竜>

■ホームページでのアンケートバナーの掲載



中部縦貫自動車道の概要と効果

中部縦貫自動車道は、長野県松本市～福井県福井市に至る延長約160kmの高規格幹線道路として、全国的な自動車交通網を形成する路線です。

現在、開通済み区間が約4割（59km）、事業中区間が約3割（50km）となっており、残る岐阜県内の「平湯～丹生川」間、長野県内の「波田～中ノ湯」間においても、計画の具体化に向けて調査を進めています。

中部縦貫自動車道が全線整備されると、三大都市圏内の主要空港と地域の観光資源間や、太平洋と日本海側の主要港湾間の所要時間が大幅に短縮し、新たな観光ルートの創出など、さらなる人流・物流の活性化が期待されます。

■道の駅等でのインタビュー調査

※新型コロナウイルス感染症の拡大状況を見ながら、実施を調整



■アンケートの調査項目の活用方針

アンケートの質問項目	アンケート結果の活用	備考
現況の問題点・ 解決すべき課題	・ 中部縦貫自動車道（平湯～日面）周辺地域における道路の現状について、回答者の認識を確認し、回答者の考える課題を把握する。	第1回
政策目標	・ 道路を計画するにあたって、回答者の考える政策目標及びその優先度について把握する。	
その他の自由意見	・ その他、道路に関する課題や意見を幅広く聴取する。	
比較ルート帯（複数案） に対する意見	・ ルート帯選定にあたり、回答者が重要視する観点を把握する。	第2回
その他の自由意見	・ その他、各区間に関する意見を広く聴取し、計画策定に反映する。	
回答者の属性、利用状況	・ 回答結果の際に対して、各分類で整理し、分析する。	共通

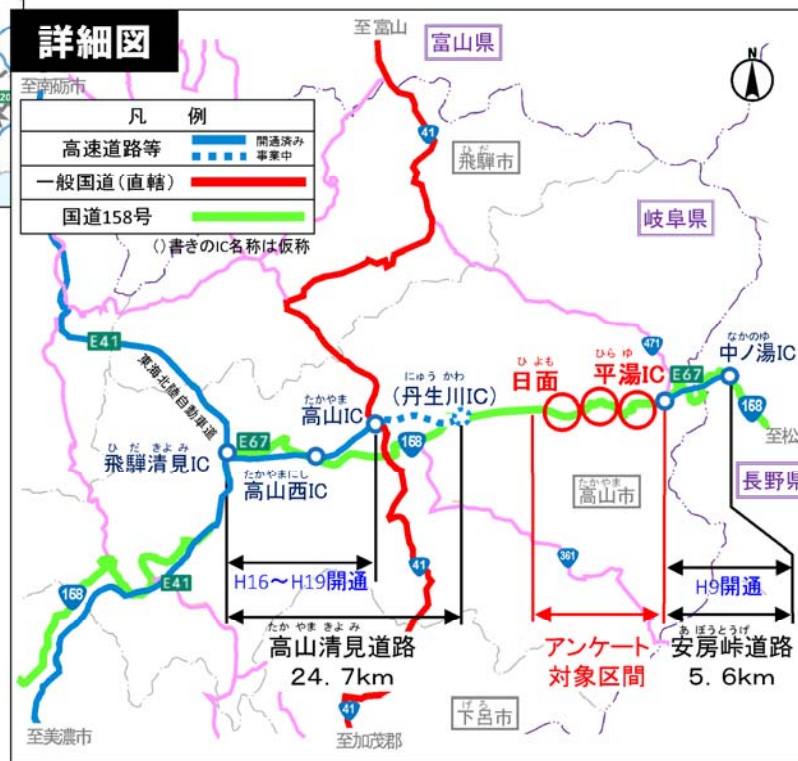
■ヒアリングの調査項目と活用方針

ヒアリングの質問項目	ヒアリング結果の活用	備考
行政や各種団体への 意見聴取	・ 課題、政策目標、道路整備の必要性に関し、行政や各種団体への意見聴取を行う。行政または各種団体との認識の整合性の確認をする。	第1回
	・ 対策案（ルート帯案）を検討する際に、行政や各種団体が重視すべき項目、配慮すべき項目について意見聴取を行う	第2回

道路計画に関するご意見をお聞かせください

中部縦貫自動車道(平湯～日面)の計画に関する第2回アンケート

中部縦貫自動車道(平湯～日面)の計画にあたり、皆様の生活に役立つ道路となるよう、ルート帯案を検討する際に重要だと思ふポイントについて、ご意見を伺うものです。



アンケートの答え方はP.2をご覧ください。



郵便はがきによるご回答は、令和●年●月●日(●)までをお願いいたします。
 ※この期間以降にご回答いただいた場合、集計に反映されない場合がございます。

お問い合わせ
 国土交通省 中部地方整備局 高山国道事務所 計画課
 〒506-0055 岐阜県高山市上岡本町7-425
 TEL: 計画課 0577-36-3822 (代表:0577-36-3811)
 ホームページ: <https://www.cbr.mlit.go.jp/takayama/index.html>

アンケート調査について

本アンケート調査は、中部縦貫自動車道(平湯～日面)の計画にあたり、皆様の生活に役立つ道路となるよう、周辺地域にお住まいの皆様のご意見をお聞かせ頂くために実施するものです。

これまで、国土交通省中部地方整備局では1回目のアンケート調査において地域の皆さまから頂いた意見を集約し、中部縦貫自動車道(平湯～日面)周辺地域における交通の課題や本道路に求められる必要な機能、政策目標を検討して参りました。

2回目となる本アンケート調査では、政策目標を達成するためのルート帯案を検討する際に重要と思われるポイントについて、地域の皆様にご意見を伺うものです。

ご協力のほどお願い申し上げます。

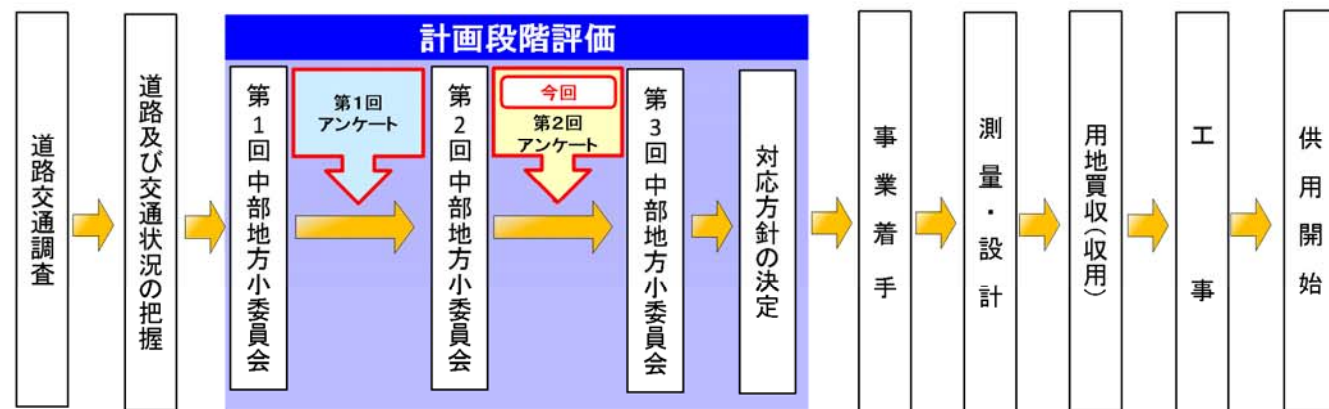
本調査は、高山市にお住いの世帯を対象にアンケート用紙(同封の返信用はがき)を送付し、ご回答をお願いしております。

ご回答いただいた内容は、国土交通省 高山国道事務所で集計を行います。

※道路の計画について、地域にお住まいになる皆さまのご意見を広くお聞きすることを目的としております。
そのため、返信用の郵便はがきに記入されたことは、この目的以外には使用いたしません。

道路事業の流れ (計画段階評価の流れ)

- 計画段階評価では、地域の皆様のご意見を伺いつつ、地域の状況と課題、道路に求められる機能等を整理し、今後整備を進める道路について、概ねのルートや構造を評価していきます。
- 今回行う第2回アンケートでは、政策目標を達成するためのルート帯案を検討する際に重要と思われるポイントについてお聞きします。
- 本アンケート結果を基に、道路整備の方針(対応方針の検討)を検討して参ります。



※必要に応じ、都市計画決定や環境影響評価の手続きが実施される。

アンケートの答え方

<回答方法について>

・P.3～5を見ながら、回答してください。回答方法は次のいずれかをお願いいたします。

【回答方法①】

アンケート用紙(同封の郵送はがき)に記入の上、ポスト投函してください。



【回答方法②】

下記よりアンケートwebページ内の手順に従って回答してください。



<返信用の郵送はがきの記入例>

- 選択回答の設問は、あてはまる番号に**1つだけ**○(マル)をつけてください。
- 問2は4段階評価の質問です。**各項目について1つずつ**○(マル)をつけてください。
- 問3の設問は自由解答です。具体的なご意見をお書きください。



問1-1. ご回答された方について教えてください。【記入または番号を選択】

住所 高山市(上岡本町 ※○丁目以下は記載なしで構いません)

性別 ①男性 2.女性

年齢 1.10代 2.20代 ③30代 4.40代 5.50代 6.60代 7.70歳 8.80歳以上

問1-2. 普段自動車を利用されますか?【1つ選択】

1. ほぼ毎日 ②週に数回程度 3. 月に数回程度
4. ほぼ利用しない 5. 利用したことがない

問1-3. 国道158号(平湯～日面)の利用頻度を教えてください。【1つ選択】

1. ほぼ毎日 ②週に数回程度 3. 月に数回程度
4. ほぼ利用しない 5. 利用したことがない

問1-4. 国道158号(平湯～日面)を利用する主な目的を教えてください。【1つ選択】

①仕事 2. 通勤・通学 3. 日常的な買い物 4. 通院 5. 観光・レジャー
6. その他()

問1-5. 「問1-4」の目的で向かう主な目的地はどこですか?

(長野県) 都・道・府・県 (松本) 市・区・町・村 (丸の内)

《ウラ面》

問2. この地域(中部縦貫自動車道(平湯～日面)周辺)にとって、望ましいルート帯案を考える際に重要だと思うことは何ですか。

以下の4段階で評価してください。【1つ選択】

4. 強くそう思う 3. どちらかというと思う
2. どちらかというと思う 1. 全くそう思わない

政策目標・配慮するポイント	あなたの評価の程度 評価高 ↔ 評価低
① 定時性が向上すること	4 <u>③</u> 2 1
② 観光地へのアクセス性が向上すること	4 <u>③</u> 2 1
③ 救急医療施設への到達性が向上すること	<u>④</u> 3 2 1
④ 道路線形がよくなり安全性が向上すること	4 <u>③</u> 2 1
⑤ 積雪時の走行性が向上すること	<u>④</u> 3 2 1
⑥ 通行止めになりにくい道路であること	<u>④</u> 3 2 1
⑦ 既存集落で住居等の移転が発生しないこと	4 <u>③</u> 2 1
⑧ 自然環境を改変しないこと	4 3 <u>②</u> 1
⑨ 道路をつくる費用が安いこと	4 3 2 <u>①</u>
⑩ その他(自由回答)	

問3. この区間の道路整備の必要性や今後の方向性について、ご意見をお書きください。(自由回答)

ご協力ありがとうございました。

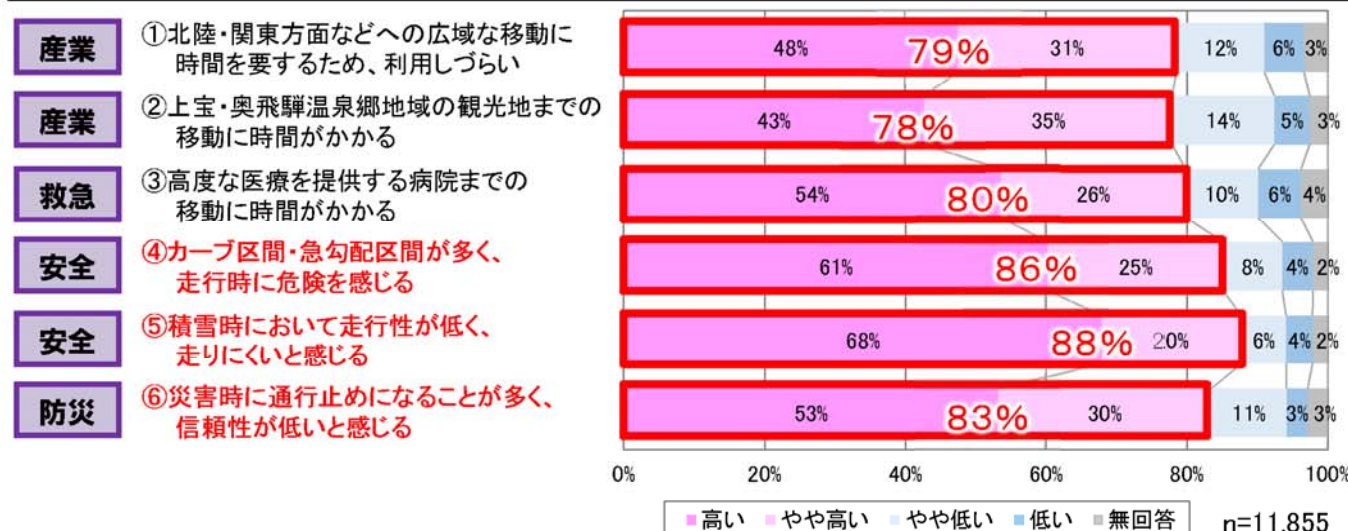
第1回意見聴取の結果

- 第1回意見聴取の結果では、地域の皆さまや道路利用者の方にアンケートを行い、11,800通あまりのご意見が集まりました。また、関係団体の皆さまにもヒアリングを実施しています。
- いただいたご意見を以下にお知らせいたします。

(1) アンケート結果

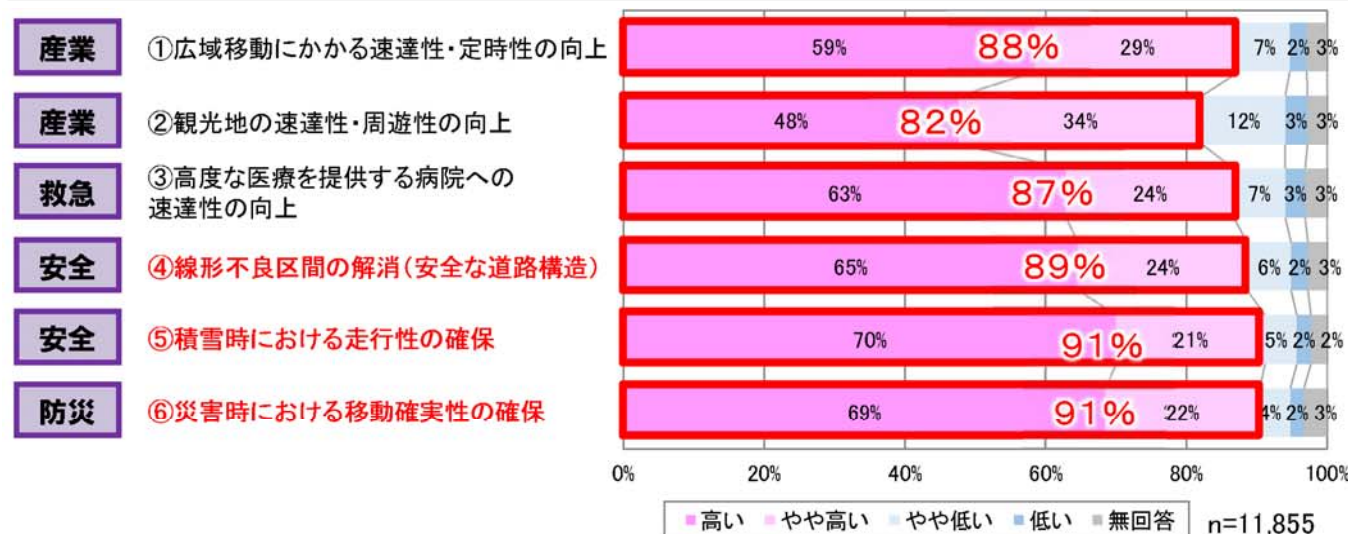
■国道158号(平湯～日面)の交通の課題

- ・交通の課題については、政策目標(案)の産業、救急、安全、防災に対する6項目について確認し、全ての項目で、約8割の方が課題と認識。
- ・特に「④カーブ区間・急勾配区間が多く、走行時に危険を感じる」「⑤積雪時において走行性が低く、走りにくいと感じる」「⑥災害時に通行止めになることが多く、信頼性が低いと感じる」が8割を超える。



■国道158号(平湯～日面)の必要な道路の機能

- ・必要な道路の機能については、政策目標(案)の産業、救急、安全、防災に対する6項目について確認し、全ての項目で、8割以上の方が必要な機能として回答。
- ・特に、「④線形不良区間の解消(安全な道路構造)」「⑤積雪時における走行性の確保」「⑥災害時における移動確実性の確保」が必要な機能との意見が多い。



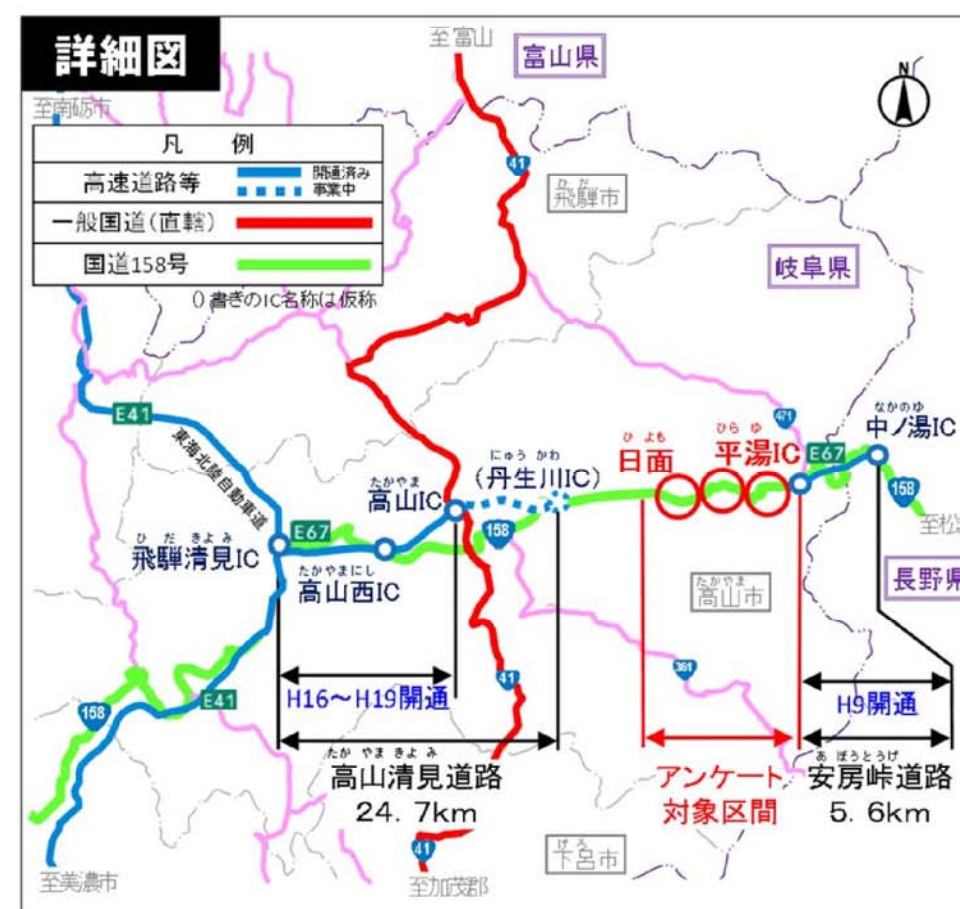
(2) ヒアリング結果

区分(政策目標(案))	主な意見
【産業】 速達性・定時性の向上による 産業活性化の支援	<ul style="list-style-type: none"> ・国道158号は、所要時間がかかるとともにカーブ区間が多いため、他の道路を通行した方が利便性が高い。(福井県トラック協会会員企業) ・国道158号は、石川から関東方面に向う場合のルートとして想定していない。冬季は雪による通行止めの心配がある。東海北陸道の飛騨トンネルで危険物積載車両が通行できないため、輸送ルートにしておらず、長野方面に大きく迂回している会員企業もある。(石川県トラック協会) ・北陸地方から首都圏への最短ルートであり、首都圏と飛騨地域を結ぶ主要道路として早期の整備を強く望む。(商工会) ・当該区間は地域住民にとっては大切な生活道路であるが、信州や関東圏等からの方にとっては観光や産業の基幹道路と利用されているため、通年安全で安心して利用できる交通網として中部縦貫道の早期完成を期待している。(コンベンション協会) ・国道158号は、松本市までの重要な道路であり、首都圏に行くためにも重要な路線であるので、早期に改良してほしい。中部縦貫自動車道を早期に完成させて首都圏からのアクセスを良くしてほしい。(旅館ホテル協同組合)
【救急】 救急搬送時の速達性・安定性の確保	<ul style="list-style-type: none"> ・平湯～日面間の東側については道路改良はされているものの、縦断勾配がきつく、カーブが多いため、救急搬送の安定性に課題。特に冬季は安全性に不安があり、スリップ事故やスタック車両による渋滞が発生するため、搬送に時間を要する。(高山市) ・積雪時においては、万全かつ迅速な凍結対策及び除雪を行っていただき、救急搬送時の通行性を確保してほしい。(松本広域消防局) ・救急搬送にあたり、この区間は急カーブや急勾配など危険箇所が多くあり、冬期間を含めた安全性の確保とともに、災害時にも確実に通行できるネットワークの確保を望む。(飛騨市)
【安全】 交通安全、積雪時の走行性の向上	<ul style="list-style-type: none"> ・平湯～日面間の東側はカーブ区間や急勾配箇所が多く、積雪が多いため圧雪状態となりスタックする車が多く、特に冬季は危険である。(飛騨市) ・カーブが多く、冬は特に危険。ノーマルタイヤの事故が多い。(高山署) ・カーブが多いため大型車とのすれ違いの際、危険を感じることもあり、特に冬場は積雪量も多く急こう配のためスリップすることもあり危険である。(商工会) ・国道158号沿いにある宿泊施設まで温泉をタンクローリーで週一程度配湯しているが、急カーブ等があり走行しにくい。(温泉組合) ・冬季間は、凍結があり走行しにくく、安全性が低い。カーブが多く、急こう配な坂のため走行しにくい。(旅館ホテル協同組合) ・事故多発箇所を避けるような道路。(高山署)
【防災】 被災時にも機能する信頼性の高いネットワークの確保	<ul style="list-style-type: none"> ・令和2年7月豪雨では沿線で大規模な土石流や法面決壊などの道路災害が発生し、一時通行が出来なくなり、平湯地域は孤立状態、温泉街の観光客は帰省出来ないなど、大きな影響が発生した。(岐阜県) ・当区間は7月豪雨において被災し、長期間通行止めとなり、う回路がないため通勤通学など日常生活に大きな支障が生じた。また、応急復旧後の片側交互通行により、休日等は大変混雑し、観光客のイメージダウンにつながった。(高山市) ・昨年、豪雨のため土砂崩れがあり通行止めになったので、安全を確保してほしい。災害時う回路がないので、常に走行できるようにしてほしい。(旅館ホテル協同組合)

地域の課題と課題を解決するための目標について

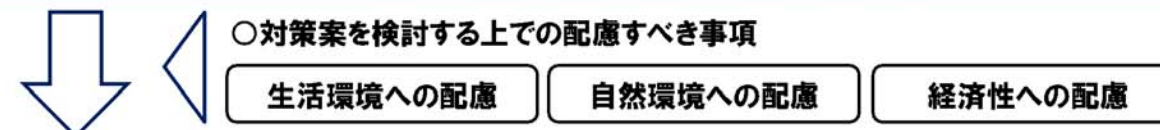
■第1回委員会にて整理した地域の課題と地域の皆さまからいただいたご意見をもとに、課題解決に向けた目標を以下のとおり定めました。

課題		意見聴取でいただいたご意見	政策目標
課題1 <ul style="list-style-type: none"> 高速道路等が未整備。 所要時間がかかり輸送費用も増加。 来訪意欲が低下し、観光入込客数も減少。 	<ul style="list-style-type: none"> 意見聴取でいただいたご意見 広域的な移動に時間がかかりすぎる 首都圏からのアクセスの向上 	速達性・定時性の向上による産業活性化の支援	
課題2 <ul style="list-style-type: none"> 上宝・奥飛騨温泉郷地域から救急搬送可能な病院は高山市街部にのみ立地。 救急搬送に時間が必要。 	<ul style="list-style-type: none"> 意見聴取でいただいたご意見 救急搬送に時間がかかるので、命に関わる危険がある 救急搬送の時間短縮の実現 	救急搬送時の速達性・安定性の確保	
課題3 <ul style="list-style-type: none"> 急カーブ及び急勾配区間が多いため、事故発生の危険あり。 積雪時には、走りやすさや安全性が低下。 	<ul style="list-style-type: none"> 意見聴取でいただいたご意見 急勾配や急カーブが多く危険 冬季スリップ事故が懸念され、危険を感じる 	交通安全、積雪時の走行性の向上	
課題4 <ul style="list-style-type: none"> 災害時の通行止の際、代替路がないため、移動に支障あり。 	<ul style="list-style-type: none"> 意見聴取でいただいたご意見 令和2年7月豪雨で孤立、生活に支障 寸断されることのない、安全安心な道路 	被災時にも機能する信頼性の高いネットワークの確保	



定めた目標と以下配慮事項を踏まえ、対策案を検討します。

基本コンセプト:産業活性化の支援、救急搬送時の速達性・安定性の確保、交通安全、積雪時の走行性の向上、被災時にも機能する信頼性の高いネットワークの確保を図る道路機能を目指す



対策案の方針:通過ルートの異なる複数の対策案を検討

- 対策案を検討する上での重視すべき事項
- 定時性が向上すること
 - 観光地へのアクセス性が向上すること
 - 救急医療施設への速達性が向上すること
 - 道路線形がよくなり安全性が向上すること
 - 積雪時の走行性が向上すること
 - 通行止めになりにくい道路であること

【参考】中部縦貫自動車道(平湯～日面)整備前後のイメージ

中部縦貫自動車道(平湯～日面)に並行する国道158号が抱える課題

課題 高速道路等が未整備

課題 救急搬送に時間が必要

搬送に80分以上かかる

時期	所要時間(分)
通常期	81
冬季	87

上宝・奥飛騨温泉郷地域から高山市街部の病院までの所要時間

課題 積雪時には、走りやすさや安全性が低下

課題 災害時の通行止の際、代替路がない

中部縦貫自動車道(平湯～日面)

位置図

凡例
 高速道路等 開通済み(青線) 開通済み(赤線)
 一般国道(直轄) 赤線
 国道158号 緑線

IC名称は仮称

高山清見道路 24.7km (H16~H19開通)
 アンケート対象区間 5.6km (H9開通)

社会的状況による要因	自然的状況による要因	凡例	凡例	凡例
<ul style="list-style-type: none"> 公共施設 有形文化財 寺院・仏閣 観光施設 集落 天然記念物及び保存樹 自然公園 鍾乳洞・滝 鍾乳洞・滝の集水範囲 	<ul style="list-style-type: none"> 高規格幹線道路 国道 主要地方道 県道 県境 	<ul style="list-style-type: none"> 案①全線バイパス案 (約17km) 案②現道改良+バイパス案 (約18km) 案③現道改良案 (約20km) 	<ul style="list-style-type: none"> 高規格幹線道路 国道 主要地方道 県道 県境 	<ul style="list-style-type: none"> 案①全線バイパス案 (約17km) 案②現道改良+バイパス案 (約18km) 案③現道改良案 (約20km)

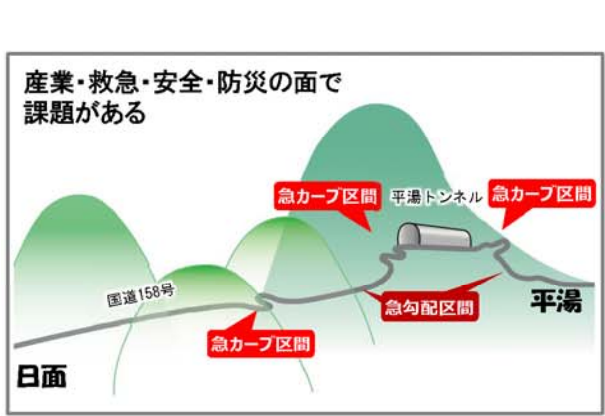
飛騨大鍾乳洞

鮎子の滝

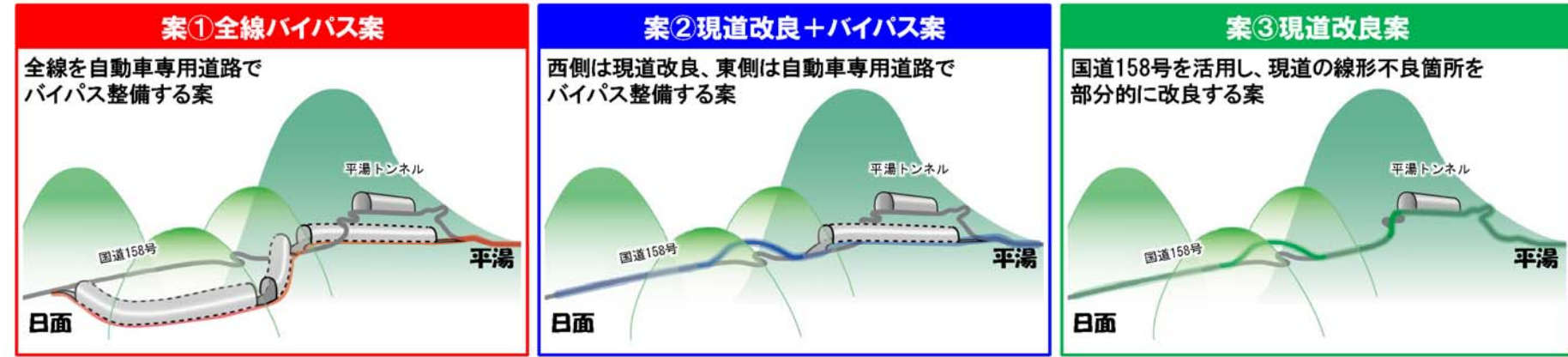
飛騨ほおのき平スキー場

平湯大滝

現況のイメージ






各ルート帯案の整備イメージ



質問内容

■地域の課題を解決するために、以下のような対策案（3つの比較案）を検討しています。対策案について、ハガキの質問事項をお答えください。

評価軸			案① 全線バイパス案	案② 現道改良+バイパス案	案③ 現道改良案	
			全線を自動車専用道路でバイパス整備する案	西側は現道改良、東側は自動車専用道路でバイパス整備する案	国道158号を活用し、現道の線形不良箇所を部分的に改良する案	
整備イメージ						
必要な道路の機能		ルート選定のポイント	約17km	約18km	約20km	
政策目標	○速達性・定時性の向上による産業活性化の支援	広域移動にかかる速達性・定時性の向上	定時性が向上すること	全線が自動車専用道路であるため定時性に最も優れる	自動車専用道路区間は定時性に優れる	現道を活用するため、他案に比べて定時性に劣る
		観光地の速達性・周遊性の向上	観光地へのアクセス性が向上すること	全線バイパス整備のため、アクセス性は、他案に比べて劣る	現道改良区間はアクセス性がよい	全線で現道を活用するため、アクセス性は最もよい
	○救急搬送時の速達性・安定性の確保	高度な医療を提供する病院への速達性の向上	救急医療施設への速達性が向上すること	救急医療施設までの時間短縮が最も見込まれる (平湯IC～最寄りの第3次救急医療施設の時間:10分短縮)*	救急医療施設までの時間短縮が見込まれるが、案①に比べて劣る (平湯IC～最寄りの第3次救急医療施設の時間:7分短縮)*	救急医療施設までの時間短縮が見込まれるが、他案に比べて劣る (平湯IC～最寄りの第3次救急医療施設の時間:3分短縮)*
		○交通安全、積雪時の走行性の向上	線形不良区間の解消	道路線形がよくなり安全性が向上すること	規格の高い自動車専用道路ができることで、安全性向上が最も見込まれる	東側は規格の高い自動車専用道路ができ、西側は現道の安全性向上が見込まれるが、案①に比べて劣る
	積雪時における走行性の確保		積雪時の走行性が向上すること	線形がよく、主にトンネル構造を想定しているため、積雪時の走行性向上が最も見込まれる	自動車専用道路区間は積雪時の走行性向上が見込まれる 現道改良区間は土工部が多く、案①に比べて積雪時の走行性に劣る	線形はよいが、土工・橋梁部が多く、他案に比べて積雪時の走行性に劣る
○被災時にも機能する信頼性の高いネットワークの確保	災害時における移動確実性の確保	通行止めになりにくい道路であること	全線バイパス整備により代替路を確保	バイパス区間は代替路を確保 現道改良区間は、代替路が確保されない	全線で現道を活用するため、代替路が確保されないことから、他案に比べて劣る	
配慮事項	環境への影響	生活環境への影響	既存集落で住居等の移転が発生しないこと	バイパス整備により、現道沿いの集落を回避するため、影響は最も少ない	バイパス区間は、現道沿いの集落を回避するため、影響は少ない	全線で現道を活用するため、他案に比べて劣る
		自然環境への影響	自然環境を改変しないこと	主にトンネル構造を想定しているため、改変が限定的であるが、他案に比べて劣る	自然環境の改変は限定的であるが、案③に比べて劣る	全線で現道を活用するため、最も自然環境の改変が小さい
経済性への配慮			約1,500億円～約1,700億円	約1,100億円～約1,300億円	約900億円～約1,100億円	

※(現況)ETC2.0データ[R3.1平日]における速度、(案①)80km/h、(案②)バイパス区間80km/h、現道改良区間60km/h、(案③)60km/hとする

- 「対策案(ルート帯)」について確認。
- 質問事項と合わせて、自由意見や回答者の属性を確認。

●質問事項

質問1:この地域(中部縦貫自動車道(平湯～日面)周辺)にとって、望ましいルート帯案を考える際に重要だと思うことは何ですか。以下の①～⑨の項目について、4段階で評価してください。その他ご意見があれば⑩に記入してください

【4段階評価】
4. 強く思う 3. どちらかというと思う 2. どちらかというと思わない 1. 全く思わない

- ① 定時性が向上すること
- ② 観光地へのアクセス性が向上すること
- ③ 救急医療施設への速達性が向上すること
- ④ 道路線形がよくなり安全性が向上すること
- ⑤ 積雪時の走行性が向上すること
- ⑥ 通行止めになりにくい道路であること
- ⑦ 既存集落で住居等の移転が発生しないこと
- ⑧ 自然環境を改変しないこと
- ⑨ 道路をつくる費用が安いこと
- ⑩ その他(自由回答)

質問2:この区間の道路整備の必要性や今後の方向性について、ご意見をお書きください。(自由回答)

●回答者属性



郵便はがき

5 0 6 0 0 5 5

〇〇〇

(受取人)
岐阜県高山市
上岡本町7丁目425番地
国土交通省 中部地方整備局
高山国道事務所 計画課 行

問1-1. ご回答された方について教えてください。【記入または番号を選択】	
住所	高山市 (※〇丁目以下は記載なしで構いません)
性別	1. 男性 2. 女性
年齢	1. 10代 2. 20代 3. 30代 4. 40代 5. 50代 6. 60代 7. 70歳 8. 80歳以上
問1-2. 普段自動車を利用されますか? 【1つ選択】	
1. ほぼ毎日 2. 週に数回程度 3. 月に数回程度 4. ほぼ利用しない 5. 利用したことがない	
問1-3. 国道158号(平湯～日面)の利用頻度を教えてください。【1つ選択】	
1. ほぼ毎日 2. 週に数回程度 3. 月に数回程度 4. ほぼ利用しない 5. 利用したことがない	
問1-4. 国道158号(平湯～日面)を利用する主な目的を教えてください。【1つ選択】	
1. 仕事 2. 通勤・通学 3. 日常的な買い物 4. 通院 5. 観光・レジャー 6. その他 ()	
問1-5. 「問1-4」の目的で向かう主な目的地はどこですか?	
() 都・道・府・県 () 市・区・町・村 ()	